

2022 年度事業報告書



一般財団法人 出版文化産業振興財団

目 次

2022 年度事業報告	1
2022 年度収支報告書及び財産目録	32
2023 年度事業計画並びに予算	45
定款	55

2022 年度事業報告

(2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで)

一般財団法人 出版文化産業振興財団

< 総務関係 >

1. 理事会・評議員会の開催

①第 129 回理事会

月日：6月7日 会場：出版クラブ 3F ホール

議題：第 1 号議案 「2021 年度事業報告」

第 2 号議案 「2021 年度決算報告並びに監査報告」

第 3 号議案 「2022 年度収支予算修正案について」

第 4 号議案 「2022 年度役員改選について」

退任理事 相賀昌宏（小学館 取締役会長）

平林 彰（日本出版販売 取締役）

※6月24日開催の評議員会をもって退任

新任理事 相賀信宏（小学館 代表取締役社長）

奥村景二（日本出版販売 代表取締役社長）

※6月24日開催の評議員会をもって選任

第 5 号議案 「規程の一部改訂と新設について」

第 6 号議案 「特定資産の費目変更について」

第 7 号議案 「基本財産からの除外と運用について」

第 8 号議案 「第 80 回評議員会の開催（6月24日）について」

報告事項 「2022 年度事業進捗状況」

報告事項 「業界課題への取り組みについて」

報告事項 「事務局長について」

②第 80 回評議員会

月日：6月24日 会場：出版クラブ 4F 会議室

議題：第 1 号議案 「2021 年度事業報告」

第 2 号議案 「2021 年度決算報告並びに監査報告」

第 3 号議案 「2022 年度収支予算修正案について」

第 4 号議案 「2022 年度役員改選について」 ※上記理事会内容と同じ

- 第 5 号議案 「特定資産の費目変更について」
- 第 6 号議案 「基本財産からの除外について」
- 第 7 号議案 「規程の一部改訂と新設について」
- 報告事項 「2022 年度事業進捗状況」
- 報告事項 「業界課題への取り組みについて」
- 報告事項 「事務局長について」

③第 81 回評議員会並びに第 130 回理事会

- 月日：9 月 12 日 会場：出版クラブ 3F ホール
- 議題：第 1 号議案 「秋の読書推進月間（仮）の取り組みについて」
- 第 2 号議案 「新理事の推薦について」
新任理事 安部順一 （中央公論新社 代表取締役社長）
- 報告事項 「賛助会費等収入の見通しについて」
- 報告事項 「資金運用について」

④第 82 回評議員会並びに第 131 回理事会

- 月日：11 月 21 日 会場：如水会館 コンファレンスルーム
- 議題：第 1 号議案 「2022 年度上期事業報告並びに収支報告」
- 第 2 号議案 「2022 年度下期事業計画について」
- 報告事項 「BOOK MEETS NEXT について」
- 報告事項 「議員連盟について」

④第 83 回評議員会並びに第 132 回理事会

- 月日：3 月 29 日 会場：出版クラブ 3F ホール
- 議題：第 1 号議案 「2022 年度事業報告案並びに収支見通し」
- 第 2 号議案 「2023 年度事業計画並びに収支予算案」
- 報告事項 「プライバシーマーク付与事業者認定について」
- 報告事項 「BOOK MEETS NEXT2023 開催骨子について（案）」

事業報告

1. 生涯学習事業

①第29期「JPIC 読書アドバイザー養成講座」

読書を通じた生涯学習・読書推進のため、「本」「読書」の魅力を掘り下げる多彩な講座内容を毎年提供しています。

2022年度第29期は、全国から参加しやすいようオンラインと会場との併用で開催しました。

専任講師にフリーライターの永江 朗さんを迎え、講師陣には現在第一線で活躍されている方々がご出講。開講記念講演には作家・クレヨンハウス主宰の落合恵子さんに、修了記念講演には小説家中島京子さんにご登壇いただきました。絵本・児童書に対する思いや、ご自身の読書体験や執筆活動についてお話いただきました。講座期間は2022年8月から2023年3月までの約8ヶ月、聴講とレポート作成を経て、28期の補講生を含め121名の新たなJPIC読書アドバイザーが誕生しました。

修了生は累計約2,800名となりました。(受講料：一般50,000円 JPIC賛助会員45,000円)

■一般財団法人 日本児童教育振興財団 助成活動



第4回スクーリング時 会場の様子



受講生代表、修了証書授与

<講座 スケジュール一覧>

日程	回数/会場	カリキュラム課目/講座タイトル	講師
2022年 8月27日(土)	第1回① /オンライン	開講式 「講座のねらいと読書の現状」 JPIC 概要 「印刷の醍醐味」 開講記念講演「絵本の時間」	永江 朗 松木修一 川井昌太郎 落合恵子
8月28日(日)	第1回② /オンライン	「本を紹介するという仕事」 「本が読者に届くまで」 グループディスカッション討議/発表	東えりか 永江 朗

10月29日(土)	第2回③ /オンライン	「図書館の今とこれから」 「中高生の読書」 グループディスカッション討議/発表	大串夏身 飯田一史
10月30日(日)	第2回④ /オンライン	「読書の楽しみは古本屋から」 「編集に正解なし ただ悩むのみ」 レポートについて 「読書論「読む」って、どんなこと？」	岡崎武志 木俣正剛 永江 朗 高橋源一郎
2023年 1月28日(土)	第3回⑤ /オンライン	「100分で学ぶ 読書・市民・文化活動と著作権」 レポートについて グループディスカッション討議/発表	福井健策 永江 朗
1月29日(日)	第3回⑥ /オンライン	「本で拓くまちの未来 ～出会い方、出会う意味から変える～」 「本電子書籍と読書の未来 ～紙からデジタルへ～」 イベント「人と本が出会う仕掛けづくり」 情報「読書と情報」	田口幹人 植村八潮 内沼晋太郎 永江 朗
3月25日(土)	第4回⑦ /出版クラブ	「発達と読書－読むことの多様化と広がり－」 レポートについて 「ブックトークの愉しみ」 「2020年代の漫画編集者の役割と漫画の状況」	佐々木宏子 永江 朗 越高一夫 今井孝昭
3月26日(日)	第4回⑧ /出版クラブ	「製本を調査する」 「講座のまとめ」 記念講演 修了式	岡本幸治 永江 朗 中島京子

<第29期受講生 属性一覧>

男女計	男性	女性	年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
125	20	105	125	0	12	21	36	39	16	1

地域別計	北海道	東北	関東	信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
125	6	9	63	7	2	7	7	4	7	12	1

職業別	図書館	書店	出版社	出版関係	販売会社	公務員
	38	7	2	3	13	8
125	主婦	自営業	教員	学生	会社員	その他
	8	7	14	1	14	10

②「JPIC 読書アドバイザークラブ (JRAC)」の活動支援

1993年より開講している「JPIC 読書アドバイザー養成講座」の修了生は、2022年度末で約2,800名です。修了生は自主運営組織「JPIC 読書アドバイザークラブ (JRAC)」を組織して、精力的に活動し

ています。

JRAC の活動は「JRAC 通信の発行」「会員用ホームページでの情報交換」「学習会の開催」など、多岐にわたります。また、全国には身近な会員のつながりを活かす地域支部があり、現在 12 支部・学習グループ 2 組も独自に活動しています。

JPIC としてもさらに JRAC の活動機会を広げるため、「JPIC 読みきかせサポーター講習会」での読みきかせ講義の講師や「スマセイおはなしひろば」でのボランティア向け学習会での講師など、主催・協力事業での講師のほか、各種団体からの問い合わせにも対応し、おはなし会の読み手等の講師を依頼しています。ほか「マンガ感想文コンクール」「お気に入りの 1 冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」の審査など、活躍の場を広げています。

2019 年より『この本読んで！』(P.12) との合同企画として「親子で読んでほしい絵本大賞」をスタート。会員による選考委員が選出した候補作 12 作品を実際に読んで投票し、選考を経て受賞作の表彰をしています(第 4 回大賞受賞作『がっこうにまにあわない』あかね書房刊/ベビー賞受賞作『いっしょだね いっしょだよ』講談社刊)。このほか『この本読んで！』では、毎号 JRAC 会員がおはなし会プログラムや新刊紹介などを担当し、読者からも好評のコーナーとなっています。



大賞受賞：ザ・キャビンカンパニーのおふたり

ベビー賞受賞：きむらだいすけさん(左) 撮影/石川勝

(JRAC 会員：599 名、2022 年度末現在)

③各種読書講習会

「JPIC 読みきかせサポーター講習会 基礎編」

読みきかせボランティアの育成を目的として、「JPIC 読みきかせサポーター講習会」を 1999 年より開催しています。絵本作家の講演と、JPIC 読書アドバイザーによる実技講習で、基本を学べる講習会と好評。リピーターが多い講習会です。

2022 年度は、午前に絵本作家による特別講演、午後は JPIC 読書アドバイザー 2 名による「読みきかせのポイント」と「選書・プログラムのポイント」



特別講師 ひろかわさんの創作エピソードに聞き入る参加者

が学べる講義を開催しました。

テキストには『この本読んで!』79号(2021年夏)[特集:読みきかせ完全ガイド]を配布、充実した情報を提供することができました。(実施:3会場、参加者:336名、参加費:2,000円)

■子どもゆめ基金(独立行政法人 国立青少年教育振興機構)助成活動

	日付	地区	会場	特別講師	申込者数	参加者数
1	7月3日	京都府京都市	メルパルク京都	浜田桂子	187	121
2	8月6日	神奈川県横浜市	ビジョンセンター横浜	とよたかずひこ	245	123
3	10月1日	愛知県名古屋市	名古屋サンスカイルーム	ひろかわさえこ	126	92
合計					558	336

◆会場定員の半数、もしくは3分の2の参加者とし、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じて実施しました

「JPIC 読みきかせサポーター講習会 学びを深める編」

2009年度からスキルアップのための講座としてスタートし、現在は、読みきかせ活動経験者のほか、幼児教育関係者なども対象にして開催しています。内容は子どもに本を届ける者の心構えや、選書などの技術を幅広く学べるもので、地域の読書推進活動の核となる人材を育成しています。



パネルシアターを演じる 特別講師 阿部 恵さん

2022年度のプログラムは、午前に幼児教育の専門家による特別講演、午後はJPIC読書アドバイザーによる未就学児と小学生、各時期の特徴を踏まえた、すぐに実践できる読みきかせのポイントを学べる講義をおこないました。(実施:5会場、参加者:521名、参加費:2,000円)

■子どもゆめ基金(独立行政法人 国立青少年教育振興機構)助成活動

	日付	地区	会場	特別講師	申込者数	参加者数
1	7月23日	北海道札幌市	札幌国際ビル	阿部 恵	113	99
2	9月3日	宮城県仙台市	フォレスト仙台	藤田浩子	130	109
3	10月22日	東京都千代田区	一橋大学一橋講堂	藤田浩子	208	121
4	12月3日	千葉県柏市	柏の葉 カンファレンスセンター	柴田愛子	122	85
5	1月21日	兵庫県神戸市	三宮研修センター	柴田愛子	160	107
合計					733	521

◆会場定員の半数、もしくは3分の2の参加者とし、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じて実施しました

「子どもたちを本の世界へ ～読む楽しみを届けよう～」

「子どもが「本」の世界を楽しむために、大人になりにができるのでしょうか」。当講座は、翻訳の絵本や児童書、ことばや物語など、「子どもと本」について学ぶことを目的とした講座です。

前半は、翻訳家、研究者、作家と多彩な講師陣による特別講演。後半は、JPIC 読書アドバイザーによる本を子どもに手渡すときのポイントと実例の講義を実施しました。テキストとして、『この本 読んで!』80号(2021年秋) [特集: 絵本から読みものへ] を配布しました。(実施: 3会場、参加者: 269名、参加費: 2,000円)



大阪会場 特別講師 今井むつみさんの講義

■子どもゆめ基金(独立行政法人 国立青少年教育振興機構) 助成活動

	日付	地区	会場	特別講師	申込者数	参加者数
1	7月10日	東京都千代田区	一橋大学一橋講堂	小宮 由	150	111
2	8月20日	大阪府大阪市	大阪国際会議場	今井むつみ	130	83
3	11月3日	福岡県福岡市	アクロス福岡	中島京子	89	75
合計					369	269

◆会場定員の半数の参加者とし、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じて実施しました

2022年度末で「サポーター講習会」は累計546回、延べ参加者53,000名となりました(「JPIC 読みきかせサポーター講習会 基礎編」、「JPIC 読みきかせサポーター講習会 学びを深める編」、「子どもたちを本の世界へ～読む楽しみを届けよう～」のほか、過去の関連講座「読書サポーター講習会」、「子どもの本講習会」、「YA文学講座」を含みます)。

④さまざまな層への読書アプローチ

「本だなプロジェクト」

2022年度、新たな事業としてスタートした「本だなプロジェクト」。

9月に全国の子ども食堂、無料塾などに開催を呼びかけ、10月に応募があった50施設から10施設を決定。オンラインによるプロジェクトの説明会后、11月よりそれぞれの施設でおはなし会がスタートしました。



読みきかせに聞き入る子どもたち

開催にあたり、日本児童図書出版協会、渡辺茂男さんのご家族の協力を得て各施設に約 50 冊の絵本を寄贈。併せて本棚を送付しました。

単なる本の寄贈だけで終わらず、子どもたちに読書の楽しさを味わってもらうために、施設に読み手がいる場合にはその方に、おはなし会を初めて開く施設には JPIC 読書アドバイザーを読み手として派遣。各施設ともに計 5 回（コロナ禍で一部 4 回開催）おはなし会を開催しました。

■子どもゆめ基金（独立行政法人 国立青少年教育振興機構）助成活動

〈開催日一覧〉

会場	地域	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回
あそぼっくすほりさき	埼玉県 さいたま市	11/7 (月)	12/7 (水)	1/11 (水)	2/1 (水)	3/1 (水)
1~2 回 ほっこりひろば	埼玉県新座市	11/19 (土)	12/26 (月)	1/7 (土)	2/4 (土)	3/4 (土)
3~5 回 ドロップひろば						
親と子の自己肯定感支援室 Olive	東京都葛飾区	11/5 (土)	12/14 (水)	1/18 (水)	2/15 (水)	-
だんだん 子ども食堂	東京都大田区	11/13 (日)	12/25 (日)	1/15 (日)	1/29 (日)	2/26 (日)
地域食堂 ひまわり	富山県富山市	11/19 (土)	12/24 (土)	1/28 (土)	2/25 (土)	-
社会福祉法人みどり自由学園	三重県津市	11/12 (土)	12/10 (土)	12/27 (火)	1/14 (土)	2/11 (土)
南部まちづくりセンター こどもみらい京田辺 宿題やつつけ隊	京都府 京田辺市	11/2 (水)	11/23 (水)	12/14 (水)	1/11 (水)	2/8 (水)
しゅうしんこう晴天食堂	兵庫県神戸市	11/19 (土)	12/24 (土)	1/15 (日)	2/5 (日)	2/19 (日)
UME house うらしま	広島県尾道市	11/4 (金)	11/26 (土)	12/10 (土)	12/24 (土)	1/28 (土)
みんなの広場 koko	香川県 観音寺市	11/5 (土)	12/3 (土)	1/14 (土)	2/4 (土)	3/4 (土)

「ワテラスブックフェス 2022」

2019 年度より始まった、神田淡路町の複合施設「ワテラス」とコラボするブックフェスの第 4 回「ワテラスブックフェス 2022」を開催。「本」をテーマにした講演会・トークイベントを企画しました。本の多様性・読書の面白さを体感できる催しとなりました。

■共催：一般社団法人 淡路エリアマネジメント

■協力：安田不動産 株式会社

※会場は東京都千代田区・ワテラスコモンホール



ゆる言語学ラジオの水野太貴さん、堀元 見さん

※視聴回数を書いてあるものは事前申し込みが不要なイベント

	日程	ゲスト	オンライン 視聴回数	会場 参加
1	10月28日	堀元 見さん、水野太貴さん「出張版！ゆる言語学ラジオ」	73,000回	50
2	10月31日	永松茂久さん「ミリオンセラー『人は話し方が9割』の軌跡」	334回	50

◆会場参加は感染防止対策で人数を制限いたしました。

「JPIC ONLINE」

2020年6月より生涯学習及び読書推進を目的として開始したオンライン配信事業です。絵本や児童文学、文芸やビジネス、芸術、出版についてなど多様なテーマを取り上げ、2022年度は計58回、9,428名が参加（P.22～活動スケジュール参照）。「いつでも」「どこでも」参加できるというオンラインの特性を活かし、幅広い地域・年齢層の支持を得ています。

10代のマンガと読書フォーラム 座談会 「ヒットマンガの裏側と読書」

今年度の新規事業「10代の読書フォーラム：座談会『ヒットマンガの裏側と読書』」を、2023年3月4日（土）出版クラブホールにて開催しました。参加者は10代の子どもから大人まで132名。当事業は、10代の子どもたちにマンガや読書に興味を持ってもらうことを目的としています。進行のサンキュータツオさん（学者芸人）と、登壇者の林士平さん（集英社少年ジャンプ+編集部）、原一仁さん（講談社週刊少年マガジン編集部）による座談会では、マンガ雑誌編集者の普段の仕事、作家とのやりとり、ご自身が子どもの頃に読み10代にすすめた本を紹介いただきました。



フォーラムでのトークの様子

■後援：千代田区・千代田区教育委員会

■子どもゆめ基金（独立行政法人 国立青少年教育振興機構）助成活動

2. 調査研究事業

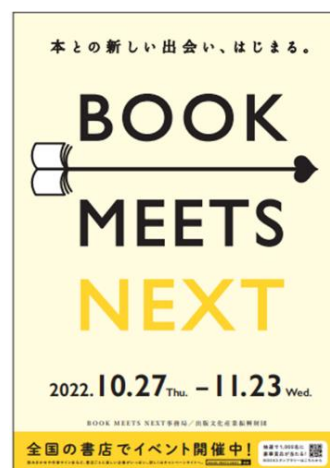
①出版業界諸課題の改善・解決に向けた研究・検討

出版業界の業界課題解決に向けた取り組みを2021年度より開始しました。2022年4月には、「街の本屋さんを元気にして、日本の文化を守る議員連盟」の業界事務局となり、提言取りまとめに向けた議論をおこなっています。また6月には、書店収益の改善に向けた実証実験第一弾と

して、小学館『BE-PAL』で雑誌買切正味引き下げを実施しました。

10月27日(木)～11月23日(水)には、出版業界が一丸となって取り組むことをめざした、新たなキャンペーン「BOOK MEETS NEXT」を実施しました。期間中は全国の書店でキャンペーン連動企画、書店独自企画などが開催され、書店数2,018、延べ3,419企画という今までにない規模のイベント情報をキャンペーンサイトに掲載し、告知することができました。

また、店頭企画を実施した書店では「期間中の売上が好調だった」など店頭の盛り上がりを感じられた報告もいただきました。



3. 情報提供事業

①「JPIC NEWSLETTER」の発行

賛助会員の皆様への報告として「JPIC NEWSLETTER」を月1回発行しています。財団の活動詳細をタイムリーに発信し、財団運営に対するアドバイスをいただくなど、財団事業へ反映させています。2022年度中に12号を発行し、通巻242号となりました。



②WEB 情報発信ツール

「JPIC ホームページ」

財団の事業を幅広く紹介し、活動スケジュールやイベント概要などをいち早く提供するため、1998年よりホームページを公開しています (<https://www.jpic.or.jp>)。2021年以降、モバイル端末に対応したデザインにリニューアルし、より広い世代への情報発信に繋がっています。

主催事業の「JPIC 読書アドバイザー養成講座」「JPIC 読みきかせサポーター講習会」は、年間予定を公開する年度初めに、多くの訪問者が、WEB ウェブフォームを通して申し込みをしています。

「JPIC INTERNATIONAL」「JPIC ONLINE」は、個別のWEB サイトを作成し、より充実させた情報を届けています。



「SNS (Twitter、LINE)」

JPIC 公式 Twitter (@jpic_web) で最新情報を発信、また「JPIC 読みきかせサポーター講習会」では公式 LINE アカウントで、講習会の様子関連イベントの告知、『この本読んで!』と連動した絵本の情報などをお知らせしています。

「メールマガジン (JPIC 通信)」

JPIC の情報を希望される方に「JPIC メールマガジン」を配信。全国の本に関心のある方々に講習会やイベント情報等を地域に合わせて発信しています。

(2022 年度末 メールマガジン読者：12,846 名)

③季刊誌『この本読んで!』の発行

読書推進活動の一環として、子どもに本を手渡すすべての方に向け、2001 年 11 月に創刊した季刊誌『この本読んで!』(事業協力：博報堂)。2022 年度は 83 号から 86 号を発行しました。

JPIC 読書アドバイザー選・おはなし会プログラムや、毎号 100 冊の新刊絵本の紹介、さまざまな切り口での特集など、おはなし会や朝読に役立つ子どもの本の情報を、見やすいカラー誌面で構成しています。人気作家のエッセイのほか、「子どもたちの未来と SDGs 絵本」「支援の必要な子と絵本」などの連載は、一般読者だけでなく図書館、教育関係者からも好評です。

創刊当時からの定期購読も多く、約 9,000 部を発行。直販のほか、メディアパルに委託し、全国の書店でも販売しています。なお、85 号から、昨今の諸般の物価全般の上昇に伴い、刊行継続のためにやむをえず定価を改定しました。



発行形態	発行：年 4 回 (6・9・12・3 月初旬) 形態：A4 変形・80 ページ	
掲載記事	83 号 2022 年夏 6/2 発売	特集：キラキラ夏絵本 & 平和を考える絵本 知る・識る・察る 図鑑と科学絵本 表紙：はたこうしろう インタビュー：あおきひろえ

掲載記事	84号 2022年秋 9/5発売	特集：芸術の秋に鑑賞したい ART な絵本 手遊び・歌遊びもたっぷり 新しい赤ちゃん絵本 表紙・インタビュー：刀根里衣
	85号 2022年冬 12/5発売	特集：ティータイムへようこそ お菓子の絵本 暦の絵本 二十四節気と行事 表紙・インタビュー：くらはしれい
	86号 2023年春 3/6発売	総力特集：松岡享子さんがのこしたもの 特集：第4回 親子で読んでほしい絵本大賞 発表 表紙：大社玲子
価格	・定価：84号まで 1,100円（税込）／85号から 1,320円（税込） ・定期購読（4冊）： 初回84号開始分まで 4,400円／初回85号開始分から 5,280円（税込・送料無料）	

2022年9月に、紀伊國屋書店新宿本店にてバックナンバーフェアを開催。12月には絵本作家・くらはしれいさんの『王さまのお菓子』（世界文化社刊）と85号のコラボ企画、NFTを使った「スマホで着せ替えキャンペーン」を行いました。児童文学作家・松岡享子さんを総力特集した86号は発売直後から注文が相次ぎ、1,000部増刷し、いまだ売れ行きを伸ばしています。

また、JRAC（JPIC 読書アドバイザークラブ）との合同企画、第4回「親子で読んでほしい絵本大賞」も開催。『この本読んで！』の82～85号で紹介した新刊絵本計400冊からJRAC会員が実際に読んで投票し、大賞作品を決定。86号の誌面で発表しました（P.6参照）。

このほか、JPIC ONLINEにおいても、『この本読んで！』オンラインとして、誌面に関連する人気の絵本作家や大学教授などに登壇いただき、トークイベントや読みきかせ・ブックトークなどの講座を2022年度は9回開催しました。誌面とは異なる切り口と深い内容で、時間と場所を選ばないオンライン上での学びの場を提供しています。

	日程	JPIC ONLINE イベント名	講師	参加者数
1	6月18日	連続講座「おはなし春夏秋冬」 Vol.2 第1回 「夏のおはなし」	藤田浩子	194
2	8月20日	この本読んで！オンライン「絵本で平和を考える」	鈴木まもる 浜田桂子	186
3	9月17日	連続講座「おはなし春夏秋冬」 Vol.2 第2回 「秋のおはなし」	藤田浩子	231
4	11月19日	連続講座「ブックトーク講座」 第1回 基礎編「初めてみよう ブックトーク」	児玉ひろ美	230
5	11月26日	連続講座「ブックトーク講座」 第2回 応用編「中学生向けのブックトーク」	児玉ひろ美	213
6	12月17日	連続講座「おはなし春夏秋冬」 Vol.2 第3回 「冬のおはなし」	藤田浩子	234
7	1月21日	連続講座『この本読んで！』学びの時間 第1回 「手で見える学習絵本『テルミ』の制作を通して」	スギヤマカナヨ 安楽 豊	103

	日程	JPIC ONLINE イベント名	講師	参加者数
8	2月18日	連続講座『この本読んで!』学びの時間 第2回 「子どもたちの未来とSDGs」	松葉口玲子	71
9	3月18日	連続講座「おはなし春夏秋冬」 Vol.2 第4回 「春のおはなし」	藤田浩子	320

4. 交流協力事業

①地域読書環境整備事業

北海道礼文町支援

書店も図書館もない地域に読書機会を提供する「地域読書環境整備事業」の支援を受けて、JPICと礼文町教育委員会の共同事業として1993年10月にオープンした「Book 愛ランドれぶん」。2022年度の利用者は1,997名、売上冊数は1,484冊でした。

横浜市「よこはま読書パーク」開催への協力

2023年3月18日（土）に、横浜市役所アトリウムにて「よこはま読書パーク」を開催しました（主催：横浜市教育委員会、協力：株式会社有隣堂、受託事業者：JPIC「BOOK MEETS NEXT」の一環）。

当日は、出版社など14団体が出展。児童書、絵本を中心に本の販売をおこないました。また、ステージを使用して、かいけつゾロリの握手会、紙芝居の実演、ポップアップカード作りなどのイベントも開催。1,600人の来場者があり、110万円を超える売り上げがありました。

「20歳の20冊」

20歳前後の若者への読書推進事業として、2010年にスタートした『20歳の20冊』。

2021年度から著名人5名が各3冊を選書、ほかの5冊を各自治体が自由に選書する様式にしています。

2022年度は福島県飯舘村、宮城県利府町、神奈川県横浜市、高知県香南市で採用され、それぞれの二十歳を祝う会で配布されました。



三省堂書店 新横浜店フェアの様子

②「上野の森 親子ブックフェスタ 2022」の開催

2022年5月3日（火・祝）～5日（木・祝）、台東区・上野恩賜公園および周辺施設にて、「上野の森 親子ブックフェスタ 2022」が多数の後援・協賛・協力のもと3年ぶりに開催されました。

- 主催：子どもの読書推進会議、日本児童図書出版協会、
一般財団法人 出版文化産業振興財団
- 後援：国立国会図書館、経済産業省、厚生労働省、文部科学省、
東京都教育委員会、台東区、公益社団法人 全国学校図書館協議会、
公益社団法人 読書推進運動協議会、一般社団法人 日本国際児童図書評議会、
一般社団法人 日本雑誌協会、一般財団法人 日本児童教育振興財団、
一般社団法人 日本児童出版美術家連盟、一般社団法人 日本児童文学者協会、
一般社団法人 日本児童文芸家協会、一般社団法人 日本出版取次協会、
一般社団法人 日本書籍出版協会、日本書店商業組合連合会、
公益社団法人 日本図書館協会、日本図書普及株式会社、文化産業信用組合、
公益財団法人 文字・活字文化推進機構、一般社団法人 YA 出版会、読売新聞社
- 協力：上野の山文化ゾーン連絡協議会
- 協賛：ALSOK、大日本印刷株式会社、凸版印刷株式会社、図書印刷株式会社、
公益財団法人 博報堂教育財団



会場全体



出展者テントでのワークショップ

21回目を迎えた2022年度は、入口・出口を各一ヶ所にし、検温や消毒・出入口の人数カウントによる会場内の混雑抑制をおこなうなど、感染対策を徹底した上での開催となりました。また、レジでの会計は接触感染予防のためキャッシュレス決済のみとし、図書カード・クレジットカード・QRコード・交通系電子マネーの利用ができるようにしました。図書カードを使用して本を3千円以上購入した方を対象に図書カードが当たる抽選会もおこない、好評を博しました。

出版社など71社が出展、およそ4万冊にのぼる絵本・児童書が勢揃い。3日間とも晴天に恵まれた会場には、約26,000人の来場者が訪れ、お目当ての本を探したり、周辺施設でおこなわれた講演会を楽しんだりする姿が各所で見られました。

〈講演会〉

5月3日(火・祝)～5日(木・祝)：東京都美術館 講堂 ★5日：東京国立博物館 平成館講堂

日程	タイトル	出演者
3日 AM	最近話題のSDGsですが、本当におわかりですか？ 協力：ポプラ社	稲葉茂勝さん (編集者・子どもジャーナリスト)
3日 PM	絵本がつなぐ親子関係 ～学術研究と絵本製作現場から～ 協力：絵本文化推進協会	仲本美央さん (白梅学園大学子ども学部教授) いしかわこうじさん(絵本作家)
4日 AM	スギヤマカナヨさんと考える、読書のかたち 協力：文字・活字文化推進機構	スギヤマカナヨさん(絵本作家)
4日 PM	サッコ先生と性教育～子どものSOSを受けとめる～ 協力：リトルモア	高橋幸子さん(産婦人科医)
5日 AM	今、たいせつだと思ふこと 協力：東洋館出版社	くすのきしげのりさん (児童文学作家)
5日 PM	発表！【第3回 親子で読んでほしい絵本大賞】 協力：JPIC 読書アドバイザークラブ	阿部 結さん(絵本作家)
★5日 PM	子どもたちに読む楽しさを、書く楽しさを！ 協力：博報堂教育財団	ひきたよしあきさん (大阪芸術大学客員教授、作家、 コラムニスト)

③「書店大商談会」への協力

2022年10月3日(月)、千代田区・出版クラブホールにて第十一回「書店大商談会」を開催しました(出展社:72社、来場書店182名)。これまでより規模を縮小したものの、午前・午後と2部制にするなど工夫し出版社と書店員が顔をあわせ情報を交換する貴重な機会となりました。

関西では11月2日(水)、大阪市・グランフロント大阪で「BOOK EXPO 2022 秋の陣～今こそ集まれ！書店人～」を開催(出展社：204社 205ブース、来場書店584名)。商談ブースでの人数制限をしたにもかかわらず、3年ぶりの開催に場内では熱気あふれる活発な商談がおこなわれていました。イベントは中止しましたが、「西日本POP王決定戦」は例年どおり実施。「手書きPOP部門」327作品、「ディスプレイ部門」286作品、合計で2019年を大幅に上回る613作品の応募があり、当日会場セレモニーにて、金賞・銀賞・銅賞・佳作の受賞者を表彰しました。

※「北海道商談会」の開催は中止

■主催：「書店大商談会」実行委員会、「BOOK EXPO 2022」実行委員会

■実行委員長：「書店大商談会」矢幡秀治・真光書店 代表取締役社長

「BOOK EXPO 2022」大垣全央・大垣書店 代表取締役社長

■事務局協力：JPIC

④「マンガ感想文コンクール 2022」

このコンクールは優れたマンガ作品に触れ感想文を書くことで、子どもたちに豊かな感性と表現力を育んでもらうことを目的に2021年から開催している事業です。今期は全国規模で本格的に開催し、小学生・中学生・高校生より12,131通の応募作品が集まりました。1次、2次審査を経て2023年1月23日(月)に最終審査がおこなわれ、その結果各部門計5作品のグランプリと14作品の特別賞が選ばれました。また、団体からの応募には、応募数、作品内容を考慮し9つの団体賞が選ばれました。3月4日(土)に出版クラブホールにて開催した授賞式では、グランプリ受賞者のコメントや第三次審査員を務めた有識者の講評がおこなわれ、学校教育のみならず出版業界にとっても意義のあるコンクールになりました。

■協賛：秋田書店/潮出版社/KADOKAWA/講談社/集英社/小学館/スクウェア・エニックス/
白泉社/双葉社/リイド社/日本図書普及株式会社



授賞式に集った受賞者



学校や書店に配布したポスター

マンガ感想文コンクール受賞者一覧

グランプリ受賞者

部門	学校名/ 学年/ 氏名	感想文題名 対象タイトル/ 著者名/ 出版社名
小学校 低学年の部	愛媛大学教育学部附属小学校 3年 奥島嗣遼	「マンガで読みとき」 『映画ドラえもん のび太の宇宙小戦争 2021』/ 藤子・F・不二雄/小学館
	東京都新宿区立愛日小学校 2年 大石亘己	「自てん車にのろう！」 『弱虫ペダル』/渡辺 航/秋田書店
小学校 高学年の部	東京都江戸川区立船堀小学校 6年 篠塚瑛斗	「しあわせ」 『大家さんと僕』/矢部太郎/新潮社
中学生の部	兵庫県尼崎市立武庫東中学校 3年 長谷菜月	「友の背中を見て」 『ルックバック』/藤本タツキ/集英社
高等学校の部	開智高等学校 1年 瀬戸望結	「誰もがかつて子供だった」 『よつばと!』/あずまきよひこ/KADOKAWA

特別賞受賞者

部 門	学校名/ 学年/ 氏名	感想文題名 対象タイトル/ 著者名/ 出版社名
小学校 低学年の部	東京都新宿区立西戸山小学校 1年 三宅陸斗	「マッシュのつよさ。」 『マッシュル-MASHLE-』/甲本 一/集英社
	聖ドミニコ学院小学校 3年 奈良芹香	「まるちゃんと過ごすぐうたら夏休み」 『ちびまる子ちゃん』/さくらももこ/集英社
	東京都足立区立舎人第一小学校 2年 後藤 郁	「仲直りのしかた」 『クレヨンしんちゃん おおっ！オラのパワーは無限だだゾ編』 白井儀人/双葉社
	宮城県仙台市立南吉成小学校 2年 渡辺 柊	「ぼくもまかいに行ってみよう」 『魔入りました！入間くん』/西 修/秋田書店
小学校 高学年の部	熊本県熊本市立秋津小学校 6年 田中萌果	「育児は事件！？」 『じじいくじ』/上地拓郎/KADOKAWA
	東星学園小学校 5年 小林丈士	「「サザエさん」を読んで」 『サザエさん』/長谷川 町子/朝日新聞出版
	千葉県柏市立柏第六小学校 6年 大出瑞己	「細胞の不思議、そしてすごさ！」 『はたらく細胞』/清水 茜/講談社
	沖縄県うるま市立南原小学校 5年 益田原 由芽	「敵にとっての普通」 『僕のヒーローアカデミア』/堀越耕平/集英社
	兵庫県神戸市立真陽小学校 5年 山本未織	「夢に向かって努力」 『ダンス・ダンス・ダンスール』/ジョージ朝倉/小学館
中学生の部	宮崎県川南町立国光原中学校 3年 野添 晴仁	「小さいこと」 『ハイキュー!!』/古舘春一/集英社
	東京都小平市立小平第一中学校 3年 高橋仁美	「私は凡人」 『ブルーピリオド』/山口つばさ/講談社
	城北中学校 2年 平瀬通規	「今まさに漂流中」 『漂流教室』/楳図 かずお/小学館
	東京都三鷹市立第四中学校 3年 加納 由璃子	「理想を守ること」 『魔入りました！入間くん』/西 修/秋田書店
高等学校の部	神奈川県立横須賀高等学校 1年 高田菜未	「十人十色」 『性別「モナリザ」の君へ。』/吉村 旋/ スクウェア・エニックス

学校賞受賞校

長野県飯田市立伊賀良小学校	高知市立義務教育学校 土佐山学舎	群馬県甘楽郡甘楽町立福島小学校
市川学園市川中学校	上智福岡中学校	栃木県宇都宮市立国本中学校
広島叡智学園中学校	瀧川学園滝川高等学校	山口県立柳井商工高等学校

5. 受託事業・業務等

①読書普及活動協力事業

読書普及活動の活性化に向けて各社が取り組む各事業に対し、「JPIC 読書アドバイザー」「JPIC 読みきかせサポーター」「地元の読書サークル」に講師の派遣や、読みきかせを開催する会場への

読み手のコーディネートをおこなっています。

ア) おはなしマラソン

日本出版販売は、子どもたちに物語の楽しさを伝え未来の読者を育てていこうという試みから、書店での読みきかせ会「おはなしマラソン」を1999年より、全国で開催しています。JPICは、読み手ボランティアのコーディネートを担当しています（2022年度中止、累計実績725書店）。

イ) 取協読書推進事業「読み聞かせ会」

日本出版取次協会は、「読書推進」「書店店頭の活性化・増売」「第4土曜日は、こどもの本の日」の拡充をめざして、2002年秋に創立50周年記念行事として「読み聞かせ会」を開催しました。JPICはこの事業に協力しています（2022年10月22日～12月18日、2023年2月11日～3月12日の毎週土・日曜日、JPICコーディネート担当実施店44書店）。

② 「スマセイおはなしひろば」への協力

公益財団法人 住友生命健康財団は、2001年度より、読書を通した子どもの健全育成を目的として、子どもたちが「おはなしや本の楽しさ」に出合う「スマセイおはなしひろば」を開催しています。2020年度からは、コロナ禍の状況を鑑み、「スマセイおはなしひろばオンライン」としてリニューアル。

「オンラインで学ぼう♪ “子どもがよろこぶ読みきかせ術”」と題したオンライン講座を、全国の保育園、幼稚園の先生を対象に開催しています。1回目は、いしかわこうじさんの「大型絵本、その魅力と楽しみ方！」と童心社副編集長 橋口英二郎さんの紙芝居舞台の実演、2回目は、鈴木翼さんの「子どもも大人も思わず笑っちゃう！絵本と遊びの世界」を配信しました。リアルタイム、見逃し配信いずれも多くの保育園・幼稚園の先生、一般の方に視聴いただきました。なお、参加した保育園、幼稚園には、大型絵本や紙芝居舞台、絵本セットなどをプレゼントしました。



大型絵本の魅力を語る いしかわこうじさん

開催日	一部講師	二部講師	リアルタイム配信 視聴回数	アーカイブ配信 再生回数
10月23日	いしかわこうじ	橋口英二郎	824回	3,027回
11月13日	鈴木 翼	なし	678回	2,429回

③「第55回 造本装幀コンクール」への協力

一般社団法人 日本書籍出版協会、一般社団法人 日本印刷産業連合会が主催する「第55回 造本装幀コンクール」において、JPIC は事務局を担いました。

今回は、2021年の1年間に初版発行された本を対象に作品を募集し、167者から347点もの出品がありました。審査は、5月27日（金）におこない、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞をはじめとする各賞（全21作品）を決定しました。9月5日（月）には、3年ぶりとなる表彰式を日比谷図書文化館コンベンションホールで開催し、受賞者や審査員など101名の出席者で大いに賑わいました。また、すべての出品作品は約1か月の間、出版クラブ3Fのクラブライブラリーで公開展示されました。

④「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」への協力

「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」は公益財団法人 博報堂教育財団が「子どもたちの読書機会の拡大」を目的に2020年度にスタートした事業です。

2022年度は2回目の開催をし、406団体、25,377作品の応募がありました。第一次、第二次審査は、JPIC 読書アドバイザーに依頼しました。また募集チラシの配布など応募の呼びかけ、作品集作成時の出版社への報告など、事務局として関わっています。



2022年度 作品募集チラシ

6. 出版コンテンツの海外発信事業

①内閣府 翻訳出版事業への協力

2014年度に内閣府で開始した＜日本の魅力発信に資する書籍の翻訳出版事業＞に、参画しています。文化のみならず、政治・外交・思想・社会・科学技術・自然科学など幅広い分野における日本の多様なノンフィクション作品を英訳出版し、より深い日本理解促進を図る事業です。対象書籍は、各界各分野の第一人者である民間有識者11名からなる選定委員会にて選ばれます。

2022年度は、クレーブ株式会社と連携し、JPIC は出版元として、2作品の英訳版を制作しました。これらの書籍はオープンアクセスプラットフォーム（JSTOR, OAPEN, ORL）で公開しています。

2022 年度 JPIC 発行書籍

-高坂正堯著 *International Politics and the Search for Peace* / 原書：『国際政治：恐怖と希望 改版』（中央公論新社）

-熊倉功夫著 *Japanese Tea Culture: The Heart and Form of Chanoyu* / 原書：『茶の湯：わび茶の心とかたち』（中央公論新社）

上記と過去 8 年分を合わせると合計 89 作品となりました。海外の大学から、日本研究を始めたばかりの学生たちが有効活用できると好評です。コロンビア大学の翻訳賞を受賞した作品や、JPIC 英訳版をもとにほかの言語へ翻訳された作品もあり、海外の学术界・出版界からも今後の事業に期待が寄せられています。

②日本国際問題研究所 翻訳出版事業への協力

2018 年度より公益財団法人 日本国際問題研究所（国問研）からの受託事業として、政治・外交・歴史分野の書籍の英訳出版をしています。2022 年度より新たな 5 年契約を結びましたが、2022 年度は 1 タイトルの出版となりました。発行書籍は、50 ヶ国 1,000 ヶ所以上の大学図書館を中心とした研究機関、公共図書館等へ。また、在外公館など外務省関係への寄贈もおこなっています。

2022 年度 JPIC 発行書籍

-北岡伸一監修・著、小峰隆夫責任編集・著、他 37 名

Examining Heisei Japan, Vol. III: Economy（論文集 平成日本を振り返る 第三巻 経済）

また、国問研での採用とはなりませんでしたが、上記と同様、北岡伸一監修 *A Western Pacific Union: Japan's New Geopolitical Strategy* / 原書：『西太平洋連合のすすめ：日本の「新しい地政学」』（東洋経済新報社）も発行しました。

③図書寄贈事業「READ JAPAN PROJECT」への協力

公益財団法人東京財団政策研究所が実施する「日本理解促進のための図書寄贈事業（READ JAPAN PROJECT）」に、事務局として 2018 年度より参画しています。在外公館が推薦する世界の図書館や研究機関へ、日本に関する英文図書 200 冊の中から希望を募り寄贈するプログラムです。JPIC は、寄贈先機関との連絡・図書発注・発送準備等の事務局運営を担っています。

2022 年度は約 100 機関へ寄贈しました。

2022年度 JPIC活動スケジュール（赤字：Web配信イベント）

月日	事業・活動	参加者数	場所・会場
4月13日	「上野の森 親子ブックフェスタ2022」第6回運営委員会		JPIC会議室
4月14日	全国の書店経営者を支える議員連盟		衆議院 第二議員会館
4月14日	マンガ感想文コンクール 第1回実行委員会		Zoom会議
4月15日	絵本・日本プロジェクト会議		ブックハウスカフェ +Zoom
4月20日	「ドラゴン女王に学ぶ!～ゴルフスウィングの基本と飛距離アップのヒミツ～」 講師:高島早百合さん（主催:一般社団法人淡路エアーマネジメント）	50名参加	ワテラスコモン ホール
4月26日	「上野の森 親子ブックフェスタ2022」第7回運営委員会		JPIC会議室
5月3日～5日	「上野の森 親子ブックフェスタ 2022」 （共催:子どもの読書推進会議、日本児童図書出版協会）	出展 71社 売上3,100万円	上野恩賜公園
5月14日	JPIC ONLINE連続講座「やっぱり読みたい日本の近代文学～ていねいに読む 太宰 治～」第1回「太宰 治の創作活動」講師:斎藤理生さん	20名参加	web配信
5月17日	絵本・日本プロジェクト会議		ブックハウスカフェ +Zoom
5月19日	JPIC ONLINE連続講座「やっぱり読みたい日本の近代文学～谷崎潤一郎の 文学を読む～」第1回「谷崎潤一郎はなぜ「文豪」と呼ばれたか」講師:日高佳紀さん	14名参加	web配信
5月21日	JPIC ONLINE連続講座「やっぱり読みたい日本の近代文学～ていねいに読む 太宰 治～」第2回「短編を読む—『親友交歓』」講師:斎藤理生さん	24名参加	web配信
5月27日	業界課題解決に向けた「合同委員会」(特別委員会・専門委員会 第1-第3部会)		Zoom会議
5月27日	第55回造本装幀コンクール審査会	167者347点	出版クラブ会議室
5月28日	JPIC ONLINE連続講座「やっぱり読みたい日本の近代文学～ていねいに読む 太宰 治～」第3回「長編を読む—『惜別』」講師:斎藤理生さん	24名参加	web配信
6月1日	全国の書店経営者を支える議員連盟		自民党本部
6月2日	『この本読んで!』第83号(2022年夏号)発行		
6月2日	JPIC ONLINE連続講座「やっぱり読みたい日本の近代文学～谷崎潤一郎の 文学を読む～」第2回「谷崎潤一郎と都市モダン文化」講師:日高佳紀さん	13名参加	web配信
6月7日	第129回理事会		出版クラブ +web配信
6月9日	絵本・日本プロジェクト会議		ブックハウスカフェ +Zoom
6月10日	第十一回 書店大商談会 第1回実行委員会		ブックハウスカフェ +Zoom
6月15日	BOOK EXPO2022 第1回実行委員会		Zoom会議
6月16日	JPIC ONLINE連続講座「やっぱり読みたい日本の近代文学～谷崎潤一郎の 文学を読む～」第3回「谷崎潤一郎と古典文学」講師:日高佳紀さん	13名参加	web配信
6月17日	業界課題解決に向けた「専門委員会」第3回(第2部会)		Zoom会議
6月18日	この本読んで! オンライン連続講座「おはなし春夏秋冬」vol.2 第1回「夏のおはなし」講師:藤田浩子さん	194名参加	web配信
6月24日	第80回評議員会		出版クラブ +web配信
7月3日	「JPIC読みきかせサポーター講習会 基礎編」in 京都 特別講師:浜田桂子さん	121名参加	メルパルク京都
7月4日	第十一回 書店大商談会 第2回実行委員会		東京都書店商業組 合会議室+Zoom
7月5日	JPIC ONLINE連続講座「西洋美術の読み解き方」 第1回「絵画の読み解き方とその意義」講師:池上英洋さん	49名参加	web配信

月日	事業・活動	参加者数	場所・会場
7月8日	業界課題解決に向けた「専門委員会」第4回(第2部会)		Zoom会議
7月9日	JPIC ONLINE 絵本アワー「こんにちは、絵本たち！」第19回 ガイド役:安富ゆかりさん	616名参加	web配信
7月10日	「子どもたちを本の世界へ～読む楽しみを届けよう～」in千代田 特別講師:小宮 由さん	111名参加	一橋大学一橋講堂
7月12日	JPIC ONLINE連続講座「西洋美術の読み解き方」 第2回「宗教と美術の関りを読み解くー中世美術を中心に」講師:池上英洋さん	49名参加	web配信
7月19日	JPIC ONLINE連続講座「西洋美術の読み解き方」 第3回「社会と美術の関りを読み解くールネサンスを中心に」講師:池上英洋さん	49名参加	web配信
7月19日	BOOK EXPO2022 第2回実行委員会		Zoom会議
7月19日	絵本・日本プロジェクト会議		ブックハウスカフェ+Zoom
7月23日	「JPIC読みきかせサポーター講習会 学びを深める編」in 札幌 特別講師:阿部 恵さん	99名参加	札幌国際ビル
7月29日	JPIC ONLINE連続講座「やっぱり読みたい日本の近代文学～感性のひと、宮沢賢治～」第1回「感性で読み解く宮沢賢治文学」講師:ソコロワ山下聖美さん	133名参加	web配信
8月2日	絵本・日本プロジェクト会議		ブックハウスカフェ+Zoom
8月3日	第十一回 書店大商談会 第3回実行委員会		東京都書店商業組合会議室+Zoom
8月5日	JPIC ONLINE連続講座「やっぱり読みたい日本の近代文学～感性のひと、宮沢賢治～」第2回「『風の又三郎』と『雪渡り』の世界」講師:ソコロワ山下聖美さん	136名参加	web配信
8月6日	「JPIC読みきかせサポーター講習会 基礎編」in 横浜 特別講師:とよたかずひこさん	123名参加	ビジョンセンター横浜
8月6日	JPIC ONLINE 絵本アワー「こんにちは、絵本たち！」第20回 ガイド役:安富ゆかりさん	556名参加	web配信
8月12日	JPIC ONLINE連続講座「やっぱり読みたい日本の近代文学～感性のひと、宮沢賢治～」第3回「『やまなし』と『銀河鉄道の夜』の世界」講師:ソコロワ山下聖美さん	143名参加	web配信
8月13日	高校生直木賞 夏休みイベント2022「『その映像を調べてはいけない』読書会」 ゲスト:道尾秀介さん(主催:「高校生直木賞」実行委員会)	111名参加	web配信
8月20日	「子どもたちを本の世界へ～読む楽しみを届けよう～」in大阪 特別講師:今井むつみさん	83名参加	大阪国際会議場
8月20日	この本読んで！オンライン「絵本で平和を考える」 講師:鈴木まもるさん、浜田桂子さん	186名参加	web配信
8月20日	高校生直木賞 夏休みイベント2022 石井光太さん、伊藤氏貴さんトークショー 「『人間力』と『国語力』」(主催:「高校生直木賞」実行委員会)	111名参加	web配信
8月20日	高校生直木賞 夏休みイベント2022 逢坂冬馬さん、佐藤 究さんトークショー (主催:「高校生直木賞」実行委員会)	111名参加	web配信
8月24日	業界課題解決に向けた「専門委員会」第5回(第2部会)		Zoom会議
8月25日	JPIC読書アドバイザー養成講座 第1回テキスト改訂委員会		JPIC会議室
8月27日	JPIC ONLINE「『赤毛のアン』と歩んだL.M.モンゴメリの旅路」 講師:梶原由佳さん	175名参加	web配信
8月27日	第29期「JPIC読書アドバイザー養成講座」第1回 ①	受講生125名	web配信
8月28日	第29期「JPIC読書アドバイザー養成講座」第1回 ②	受講生125名	web配信
8月31日	第十一回 書店大商談会 第4回実行委員会		東京都書店商業組合会議室+Zoom
9月3日	「JPIC読みきかせサポーター講習会 学びを深める編」in 仙台 特別講師:藤田浩子さん	106名参加	フォレスト仙台
9月3日	JPIC ONLINE「13歳から100歳までの地政学」講師:田中孝幸さん	91名参加	web配信

月日	事業・活動	参加者数	場所・会場
9月3日	JPIC ONLINE連続講座「オトナたち！子どもと言葉の不思議に飛び込もう」 第1回「素晴らしき音声学の世界へようこそ！」講師:川原繁人さん	96名参加	web配信
9月5日	『この本読んで！』第84号(2022年秋号)発行		
9月5日	第55回造本装幀コンクール表彰式		日比谷図書文化館 コンベンションホール
9月5日～30日	『この本読んで！』バックナンバーフェア		紀伊國屋書店 新宿本店
9月6日	絵本・日本プロジェクト会議		ブックハウスカフェ +Zoom
9月7日	マンガ感想文コンクール 第2回実行委員会		Zoom会議
9月7日	JPIC ONLINE連続講座「いま読みなおしたい海外児童文学 ミヒヤエル・エンデの 贈り物」第1回「ミヒヤエル・エンデの人生」講師:堀内美江さん	121名参加	web配信
9月10日	JPIC ONLINE 絵本アワー「こんにちは、絵本たち！」第21回 ガイド役:安富ゆかりさん	492名参加	web配信
9月10日	JPIC ONLINE連続講座「オトナたち！子どもと言葉の不思議に飛び込もう」 第2回「子どもの言い間違いには意味がある！」講師:川原繁人さん	98名参加	web配信
9月12日	第81回評議員会 第130回理事会		出版クラブ +web配信
9月13日	BOOK EXPO2022 第3回実行委員会		Zoom会議
9月14日	JPIC ONLINE連続講座「いま読みなおしたい海外児童文学 ミヒヤエル・エンデの 贈り物」第2回「エンデのファンタジー文学」講師:堀内美江さん	144名参加	web配信
9月16日	第十一回 書店大商談会 第5回実行委員会		東京都書店商業組 合会議室+Zoom
9月17日	この本読んで！オンライン連続講座「おはなし春夏秋冬」vol.2 第2回「秋のおはなし」講師:藤田浩子さん	231名参加	web配信
9月17日	JPIC ONLINE連続講座「オトナたち！子どもと言葉の不思議に飛び込もう」 第3回「音そのものにも意味がある」講師:川原繁人さん	103名参加	web配信
9月21日	JPIC ONLINE連続講座「いま読みなおしたい海外児童文学 ミヒヤエル・エンデの 贈り物」第3回「ミヒヤエル・エンデと日本」講師:堀内美江さん	134名参加	web配信
9月28日	JPIC読書アドバイザー養成講座第2回テキスト改訂委員会		JPIC会議室
10月1日	「JPIC読みきかせサポーター講習会 基礎編」in 名古屋 特別講師:ひろかわさえこさん	92名参加	名古屋サンスカイ ルーム
10月3日	第十一回 書店大商談会		出版クラブホール
10月8日	JPIC ONLINE 絵本アワー「こんにちは、絵本たち！」第22回 ガイド役:安富ゆかりさん	492名参加	web配信
10月11日	BOOK EXPO2022 第4回実行委員会		小学館PS会議室
10月14日	絵本・日本プロジェクト会議		ブックハウスカフェ +Zoom
10月15日	JPIC ONLINE「サボテンはすごい！」講師:堀部貴紀さん	20名参加	web配信
10月22日	「JPIC読みきかせサポーター講習会 学びを深める編」in 千代田区 特別講師:藤田浩子さん	121名参加	一橋大学一橋講 堂
10月23日	SMISEIおはなしひろばオンライン第一弾 講師:いしかわこうじさん、橋口英二郎さん(童心社副編集長)	3,027名視聴 見逃し配信含む	web配信
10月26日	JPIC ONLINE連続講座「やっぱり読みたい日本の近代文学～知らなかった 「芥川龍之介」～」第1回「新進作家・芥川龍之介の登場と文壇」講師:庄司達也さん	35名参加	web配信
10月27日	秋の読書推進月間 BOOK MEETS NEXT オープニングイベント 登壇:今村翔吾さん、角野栄子さん、中江有里さん	351名参加	紀伊國屋ホール
10月28日	WATERRAS BOOK FES2022「出張版！ゆる言語学ラジオ」 ゲスト:ゆる言語学ラジオ(堀元 見さん、水野太貴さん)	50名参加	ワテラスコモン ホール

月日	事業・活動	参加者数	場所・会場
10月29日	JPIC ONLINE連続講座「いま読みなおしたい海外児童文学 ルイス・キャロルの言語世界」第1回「多面性を持つルイス・キャロル」講師:夏目康子さん	53名参加	web配信
10月29日	第29期「JPIC読書アドバイザー養成講座」第2回 ③	受講生125名	web配信
10月30日	第29期「JPIC読書アドバイザー養成講座」第2回 ④	受講生125名	web配信
10月31日	WATERRAS BOOK FES2022「ミリオンセラー『人は話し方が9割』の軌跡」 ゲスト:永松茂久さん	50名参加	ワテラスコモンホール
11月2日	BOOK EXPO2022秋の陣 ～今こそ集まれ！書店人～	1,193名参加	コングレコンベンションセンター
11月2日	JPIC ONLINE連続講座「やっぱり読みたい日本の近代文学～知らなかった「芥川龍之介」～」第2回「直筆資料に注目すると見えること」講師:庄司達也さん	34名参加	web配信
11月2日	本だなプロジェクト開催	全10施設おはなし会各4～5回開催	
11月2日	全国の書店経営者を支える議員連盟		憲政記念館(代替施設)
11月3日	「子どもたちを本の世界へ～読む楽しみを届けよう～」in福岡 特別講師:中島京子さん	75名参加	アクロス福岡
11月5日	JPIC ONLINE連続講座「いま読みなおしたい海外児童文学 ルイス・キャロルの言語世界」第2回『不思議の国のアリス』のデフォルメされた大人たち」講師:夏目康子さん	55名参加	web配信
11月7日	JPIC読書アドバイザー養成講座第3回テキスト改訂委員会		JPIC会議室
11月9日	第十一回 書店大商談会 第6回実行委員会		東京都書店商業組合会議室+Zoom
11月9日	JPIC ONLINE連続講座「やっぱり読みたい日本の近代文学～知らなかった「芥川龍之介」～」第3回「羅生門」をノート・草稿から読み解く」講師:庄司達也さん	36名参加	web配信
11月12日	JPIC ONLINE 絵本アワー「こんにちは、絵本たち！」第23回 ガイド役:安富ゆかりさん	512名参加	web配信
11月12日	JPIC ONLINE連続講座「いま読みなおしたい海外児童文学 ルイス・キャロルの言語世界」第3回『鏡の国のアリス』とマザーグースとビートルズ」講師:夏目康子さん	59名参加	web配信
11月13日	スマセイおはなしひろばオンライン第二弾 講師:鈴木 翼さん	2,429名視聴 見逃し配信含む	web配信
11月17日	業界課題解決に向けた「専門委員会」第3回(第1部会)		Zoom会議
11月19日	この本読んで！オンライン連続講座「ブックトーク講座」 第1回 基礎編「初めてみよう ブックトーク」講師:児玉ひろ美さん	230名参加	web配信
11月21日	第82回評議員会 第131回理事会		如水会館 +web配信
11月24日	街の本屋さんを元気にして、日本の文化を守る議員連盟		衆議院 第一議員会館
11月26日	この本読んで！オンライン連続講座「ブックトーク講座」 第2回 応用編「中学生向けのブックトーク」講師:児玉ひろ美さん	213名参加	web配信
12月3日	「JPIC読みきかせサポーター講習会 学びを深める編」in 柏 特別講師:柴田愛子さん	85名参加	柏の葉カンファレンスセンター
12月3日	JPIC ONLINE 「翻訳家・鴻巣友季子さんと言葉を編む」 講師:鴻巣友季子さん	86名参加	web配信
12月5日	『この本読んで！』第85号(2022年冬号)発行		
12月6日	絵本・日本プロジェクト会議		ブックハウスカフェ +Zoom
12月8日	街の本屋さんを元気にして、日本の文化を守る議員連盟		憲政記念館 (代替施設)
12月10日	JPIC ONLINE 絵本アワー「こんにちは、絵本たち！」第24回 ガイド役:安富ゆかりさん	506名参加	web配信
12月17日	この本読んで！オンライン連続講座「おはなし春夏秋冬」vol.2 第3回「冬のおはなし」講師:藤田浩子さん	234名参加	web配信

月日	事業・活動	参加者数	場所・会場
12月26日～ 23年2月14日	BOOK MEETS NEXT 『王さまのお菓子』スマホで着せ替えキャンペーン		全国参加書店
1月10日	JPIC ONLINE連続講座「ルネサンス美術とその主要画家」 第1回「ルネサンス美術のはじまり」講師:池上英洋さん	57名参加	web配信
1月11日	「上野の森 親子ブックフェスタ2023」第1回運営委員会		JPIC会議室
1月14日	JPIC ONLINE 絵本アワー「こんにちは、絵本たち！」第25回 ガイド役:安富ゆかりさん	460名参加	web配信
1月17日	JPIC ONLINE連続講座「ルネサンス美術とその主要画家」 第2回「ジョットとマザッチョ」講師:池上英洋さん	56名参加	web配信
1月19日	業界課題解決に向けた「専門委員会」特別ミーティング		出版クラブ
1月21日	「JPIC読みきかせサポーター講習会 学びを深める編」 in 神戸 特別講師:柴田愛子さん	107名参加	三宮研修センター
1月21日	この本読んで！オンライン連続講座「学びの時間」第1回 「手で見える学習絵本『テルミ』の制作を通して」講師:スギヤマカナヨさん、安楽 豊さん	103名参加	web配信
1月21日	JPIC ONLINE 「日本語って、面白い？」 講師:神永 暁さん	112名参加	web配信
1月23日	マンガ感想文コンクール 第3次審査会		出版クラブ 会議室
1月24日	絵本・日本プロジェクト会議□		ブックハウスカフェ +Zoom
1月28日	第29期「JPIC読書アドバイザー養成講座」第3回 ⑤	受講生125名	web配信
1月29日	第29期「JPIC読書アドバイザー養成講座」第3回 ⑥	受講生125名	web配信
2月7日	「上野の森 親子ブックフェスタ2023」第2回運営委員会		JPIC会議室
2月11日	JPIC ONLINE 絵本アワー「こんにちは、絵本たち！」第26回 ガイド役:安富ゆかりさん	453名参加	web配信
2月11日	JPIC ONLINE「いま読みなおしたい海外児童文学～星の王子さまの祈り～」 講師:野崎 勸さん	126名参加	web配信
2月18日	この本読んで！オンライン連続講座「学びの時間」第2回 「子どもたちの未来とSDGs」講師:松葉口 玲子さん	71名参加	web配信
2月20日	「上野の森 親子ブックフェスタ2023」第3回運営委員会		JPIC会議室
2月20日	絵本・日本プロジェクト会議		ブックハウスカフェ +Zoom
2月21日	BOOK EXPO実行委員会 第5回		小学館PS会議室
3月1日	JPIC ONLINE連続講座 「いま読みなおしたい海外児童文学～指輪物語の作者が愛した神話とエルフ語～」 第1回「著者 J.R.R.トールキンの生涯について」講師:伊藤 尽さん	151名参加	web配信
3月4日	マンガ感想文コンクール2022 授賞式	19名受賞	出版クラブホール
3月4日	10代のマンガと読書フォーラム 座談会 ヒットマンガの裏側と読書 登壇者:林士平さん・原一仁さん 進行:サンキュー・タツオさん	132名参加	出版クラブホール
3月4日	本だなプロジェクト 終了	全10施設おはなし会 計48回開催	
3月6日	『この本読んで！』第86号(2023年春号)発行		
3月11日	JPIC ONLINE 絵本アワー「こんにちは、絵本たち！」第27回 ガイド役:安富ゆかりさん	408名参加	web配信
3月14日	第4回「親子で読んでほしい絵本大賞」贈賞式 主催:JPIC読書アドバイザークラブ (協力:JPIC)		出版クラブホール

月日	事業・活動	参加者数	場所・会場
3月15日	JPIC ONLINE連続講座 「いま読みなおしたい海外児童文学～指輪物語の作者が愛した神話とエルフ語～」 第2回「『指輪物語』と北欧神話について」講師:伊藤 尽さん	151名参加	web配信
3月18日	この本読んで！オンライン連続講座「おはなし春夏秋冬」vol.2 第4回「春のおはなし」講師:藤田浩子さん	320名参加	web配信
3月18日	横浜読書活動推進ネットワークフォーラム「よこはま読書パーク」 (主催:横浜市教育委員会、協力:有隣堂、受託事業者:JPIC)	来場者数 1,600名	横浜市役所 アトリウム
3月20日	「上野の森 親子ブックフェスタ2023」第4回運営委員会		JPIC会議室
3月25日	JPIC ONLINE 「阿部 結さんトークイベント」 講師:阿部 結さん	76名参加	web配信
3月25日	第29期「JPIC読書アドバイザー養成講座」第3回 ⑦	受講生125名	出版クラブホール
3月26日	第29期「JPIC読書アドバイザー養成講座」第4回 ⑧ 修了式	受講生125名	出版クラブホール
3月29日	第83回評議員会 第132回理事会		出版クラブ + web配信
3月29日	JPIC ONLINE連続講座 「いま読みなおしたい海外児童文学～指輪物語の作者が愛した神話とエルフ語～」 第3回「『指輪物語』とエルフ語について」講師:伊藤 尽さん	158名参加	web配信
3月30日	絵本・日本プロジェクト会議		ブックハウスカフェ +Zoom

一般財団法人出版文化産業振興財団 理事・監事

理事長	近藤敏貴（日本出版取次協会会長、トーハン社長）
副理事長	小野寺優（日本書籍出版協会理事長、河出書房新社社長）
副理事長	堀内丸恵（日本雑誌協会理事長、集英社会長）
副理事長	奥村景二（日本出版取次協会副会長、日本出版販売社長）
副理事長	矢幡秀治（日本書店商業組合連合会会長、真光書店社長）
専務理事	松木修一
常務理事	金田 徴
理事	安部順一（中央公論新社社長）
理事	相賀信宏（小学館社長）
理事	亀井忠雄（三省堂書店会長）
理事	鹿谷史明（ダイヤモンド社最高顧問）
理事	関谷幸一（KADOKAWA 執行役員）
理事	高井昌史（紀伊國屋書店会長兼社長）
理事	土井成紀（NHK 出版社長）
理事	野間省伸（講談社社長）
理事	松信 裕（有隣堂会長）
理事	宮原博昭（学研ホールディングス社長）

以上 17 名

監事	桶田大介（弁護士）
監事	能勢正幸（公認会計士）
監事	平井 茂（日本図書普及社長）

以上 3 名

並びは、個人名50音順

2023年3月31日現在

一般財団法人出版文化産業振興財団 評議員

- 評議員 石崎 孟 (マガジンハウス顧問)
- 評議員 大垣守弘 (大垣書店会長)
- 評議員 川村興市 (楽天ブックスネットワーク社長)
- 評議員 北島義斉 (大日本印刷社長)
- 評議員 佐藤隆信 (新潮社社長)
- 評議員 島 秀佳 (今井書店グループ社長)
- 評議員 武田真士男 (光文社社長)
- 評議員 千葉 均 (ポプラ社社長)
- 評議員 中川清貴 (丸善CHIホールディングス会長)
- 評議員 中部嘉人 (文藝春秋社長)
- 評議員 春井宏之 (日書連副会長、愛知県)
- 評議員 麿 秀晴 (凸版印刷社長)
- 評議員 山本憲央 (中央経済社ホールディングス社長)

以上13名

並びは、個人名50音順

2023年3月31日現在

2022年度賛助会員(241社)

2023年3月31日現在

出版社			
あかね書房	コアミックス	スターツ出版	徳間書店
秋田書店	好学社	すばる舎	ドレミ楽譜出版社
朝倉書店	恒星社厚生閣	星雲社	南江堂
朝日新聞出版	佼成出版社	聖教新聞社	南山堂
明日香出版社	講談社	静山社	二玄社
飛鳥新社	交通新聞社	青春出版社	日経 BP
あすなろ書房	光文社	西東社	日本実業出版社
アリス館	国土社	成美堂出版	日本スポーツ企画出版社
家の光協会	小峰書店	聖パウロ女子修道会	日本文芸社
医学書院	ゴルフダイジェスト社	誠文堂新光社	農山漁村文化協会
池田書店	さ・え・ら書房	世界思想社教学社	白水社
医歯薬出版	作品社	世界文化ホールディングス	白泉社
1万年堂出版	産業図書	創元社	博文館新社
一迅社	三オブックス	増進堂・受験研究社	博友社
一声社	三修社	ソニー・ミュージックソリューションズ	ぴあ
今人舎	三省堂	第三文明社	PHP 研究所
岩崎書店	サンマーク出版	大修館書店	ビーエル出版
岩波書店	産経総合研究所経営書院	大日本図書	ひかりのくに
WAVE 出版	ジェイ・リサーチ出版	ダイヤモンド社	ひさかたチャイルド
潮出版社	実業之日本社	大洋図書	日之出出版
NHK 出版	実務教育出版	大和書房	白夜書房
旺文社	じほう	高橋書店	評論社
宙出版	集英社	エパブリック	フォレスト出版
オーム社	出版ワークス	竹書房	福音館書店
化学同人	主婦と生活社	辰巳出版	富山房
学研ホールディングス	主婦の友社	玉川大学出版部	扶桑社
風間書房	小学館	淡交社	双葉社
KADOKAWA	祥伝社	筑摩書房	プレジデント社
角川春樹事務所	少年画報社	地人書館	フレーベル館
金子書房	少年写真新聞社	チャイルド本社	文英堂
河出書房新社	昭文社	中央経済社ホールディングス	文化学園文化出版局
かんき出版	晶文社	中央公論新社	ぶんか社
共立出版	神宮館	中日新聞社広告局	文溪堂
金の星社	新興出版社啓林館	汐文社	文芸社
くもん出版	新星出版社	東京書籍	文藝春秋
研究社	新潮社	東京大学出版会	文理
建帛社	晋遊舎	童心社	平凡社
	鈴木出版	東洋経済新報社	ベースボール・マガジン社

ベネッセコーポレーション
 ベレ出版
 芳文社
 ポプラ社
 ほるぷ出版
 マガジンハウス
 三笠書房
 みすず書房
 光村教育図書
 ミネルヴァ書房
 モーターマガジン社
 有斐閣
 吉川弘文館
 リイド社
 リクルート
 理論社
 ワン・パブリッシング
 (出版社 168 社)

取次会社

協和出版販売
 中央社
 東京即売
 トーハン
 日教販
 日本出版販売
 日本出版貿易
 博文社
 メディアドゥ
 楽天ブックスネットワーク
 (取次会社 10 社)

書店

今井書店グループ
 大垣書店
 紀伊國屋書店
 金港堂
 三省堂書店
 須原屋
 八文字屋
 丸善CHIホールディングス
 有隣堂
 リブプラス
 リライアブル
 (書店 11 社)

書店組合

北海道書店商業組合
 岩手県書店商業組合
 宮城県書店商業組合
 茨城県書店商業組合
 群馬県書店商業組合
 埼玉県書店商業組合
 神奈川県書店商業組合
 愛知県書店商業組合
 滋賀県書店商業組合
 京都府書店商業組合
 大阪府書店商業組合
 兵庫県書店商業組合
 広島県書店商業組合
 愛媛県書店商業組合
 沖縄県書店商業組合
 (書店組合 15 組合)

教科書供給所

北海道教科書供給所
 群馬県教科書販売
 神奈川県教科書販売
 愛知県教科書印刷商業組合
 (教科書供給 4 社)

一般

インテジテクノスフィア
 オー・アイ・エム・センター
 活字文化推進会議
 カンダコーポレーション
 共同印刷
 共立速記印刷
 近代美術
 光陽メディア
 光和コンピューター
 齋藤商店
 出版共同流通
 大日本印刷
 手島梱包輸送
 天龍運輸
 電通
 トーハン従業員組合
 凸版印刷
 日販テクシード
 日販ビジネスパートナーズ

日本アド
 日本出版販売労働組合
 日本図書普及
 博報堂
 藤川紙業
 文化産業信用組合
 三井住友銀行神田法人営業第一部
 三菱UFJ銀行神田支社
 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
 八木書店
 (一般 29 社)

(業種別内訳)

出版社 168 社
 取次会社 10 社
 書店 11 社
 書店組合 15 組合
 教科書供給 4 社
 一般 29 社
 関係団体 4 団体

関係団体

出版健康保険組合
 日本児童図書出版協会
 日本出版取次協会
 日本書店商業組合連合会
 (関係団体 4 団体)

以上、241 社

2022年度収支報告書及び財産目録

貸借対照表

2023年3月31日現在

(第32期)

(単位 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現 金	445,773	1,001,182	△ 555,409
普通預金	136,107,615	22,123,341	113,984,274
郵便振替	5,012,124	8,982,270	△ 3,970,146
未収金	45,695,686	76,207,959	△ 30,512,273
前払金	1,732,742	1,732,742	0
立替金	599,314	462,697	136,617
流動資産合計	189,593,254	110,510,191	79,083,063
2 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	300,000,000	300,000,000	0
基本財産合計	300,000,000	300,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	14,715,214	10,028,132	4,687,082
積立特定資産	48,211,311	206,000,000	△ 157,788,689
アドバイザーテキスト制作積立資産	8,000,000	6,000,000	2,000,000
会館建設特定積立資産	0	200,000,000	△ 200,000,000
業界課題特定資産	40,211,311	0	40,211,311
特定資産合計	62,926,525	216,028,132	△ 153,101,607
(3) その他固定資産			
電話加入権	20,000	20,000	0
借室敷金	9,636,640	9,636,640	0
保証金	200,000	200,000	0
その他固定資産合計	9,856,640	9,856,640	0
固定資産合計	372,783,165	525,884,772	△ 153,101,607
資産合計	562,376,419	636,394,963	△ 74,018,544
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	26,895,698	38,955,328	△ 12,059,630
前受金	8,886,200	5,747,500	3,138,700
預り金	663,835	886,075	△ 222,240
流動負債合計	36,445,733	45,588,903	△ 9,143,170
2 固定負債			
退職給付引当金	14,715,214	10,028,132	4,687,082
アドバイザーテキスト制作引当金	8,000,000	6,000,000	2,000,000
業界課題引当金	40,211,311	0	40,211,311
固定負債合計	62,926,525	16,028,132	46,898,393
負債合計	99,372,258	61,617,035	37,755,223
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	300,000,000	300,000,000	0
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	163,004,161	274,777,928	△ 111,773,767
正味財産合計	463,004,161	574,777,928	△ 111,773,767
負債及び正味財産合計	562,376,419	636,394,963	△ 74,018,544

正味財産増減計算書

2022年4月1日から 2023年3月31日まで
(第32期)

(単位 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	3,777	6,000	△ 2,223
三菱UFJ銀行基本財産運用利息	2,000	2,000	0
三井住友銀行基本財産運用利息	660	2,000	△ 1,340
りそな銀行基本財産運用利息	1,117	2,000	△ 883
特定資産運用益	2,235	3,590	△ 1,355
会館建設他特定資産受取利息	2,235	3,590	△ 1,355
受取入金	70,000	10,000	60,000
賛助受取入金	70,000	10,000	60,000
受取会費	46,345,000	46,450,000	△ 105,000
賛助会員受取会費	46,345,000	46,450,000	△ 105,000
事業収益	264,393,866	342,800,201	△ 78,406,335
生涯学習事業収益	17,360,480	30,269,252	△ 12,908,772
読書アドバイザー養成講座助成金収益	1,000,000	1,400,000	△ 400,000
読書アドバイザー養成講座受講料収益	6,265,360	5,122,550	1,142,810
読みきかせ講習会参加費収益	4,588,965	2,720,005	1,868,960
読書アプローチ事業収益	825,000	9,810,210	△ 8,985,210
JPIC ONLINE事業収益	4,681,155	11,216,487	△ 6,535,332
調査研究事業収益	8,055,592	0	8,055,592
店頭活性化取組収益	8,010,592	0	8,010,592
業界課題解決のための調査・研究収益	45,000	0	45,000
情報提供事業収益	30,838,134	35,844,617	△ 5,006,483
機関誌購読料収益	30,838,134	35,844,617	△ 5,006,483
交流協力事業収益	18,089,056	9,882,938	8,206,118
上野の森親子フェスタ事業収益	494,450	1,300,200	△ 805,750
地域読書環境整備事業収益	0	1,500,000	△ 1,500,000
書店大商談会事業収益	686,300	440,000	246,300
20歳の20冊事業収益	408,306	1,159,738	△ 751,432
マンガ感想文コンクール事業収益	16,500,000	5,483,000	11,017,000
受託事業・業務協力事業収益	9,936,632	8,691,666	1,244,966
読書普及事業収益	232,446	1,887,658	△ 1,655,212
住友生命健康財団受託事業収益	5,132,226	5,338,036	△ 205,810
朝日新聞受託事業収益	0	85,972	△ 85,972
造本コンクール受託事業収益	1,050,000	1,050,000	0
活字文化推進活動受託事業収益	0	330,000	△ 330,000
「お気に入りの一冊をあなたに」協力収益	3,521,960	0	3,521,960
出版コンテンツの海外発信事業収益	180,113,972	258,111,728	△ 77,997,756
内閣府翻訳出版事業収益	41,297,720	44,718,190	△ 3,420,470
国際問題研究所翻訳出版事業収益	25,022,075	202,397,363	△ 177,375,288
販売・権利許諾事業収益	9,646,026	10,996,175	△ 1,350,149
READ JAPAN PROJECT事業収益	104,148,151	0	104,148,151
受取補助金等	10,700,000	10,615,435	84,565
子どもゆめ基金助成金	10,700,000	10,615,435	84,565
受取寄付金	2,130,200	1,500,000	630,200
会員受取寄付金	2,130,200	1,500,000	630,200
雑収益	38,443	8,789	29,654
受取利息	679	589	90
雑 収 益	37,764	8,200	29,564
経常収益計	323,683,521	401,394,015	△ 77,710,494

(単位 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(2) 経常費用			
事業費	427,387,144	417,201,448	10,185,696
生涯学習事業費	63,034,247	62,887,904	146,343
読書アドバイザーテキスト制作事業費	2,267,225	1,999,992	267,233
読書アドバイザー養成講座事業費	7,553,193	10,209,695	△ 2,656,502
JRAC関連事業費	2,316,186	2,187,950	128,236
読みきかせ講習会事業費	21,204,765	20,122,465	1,082,300
読書アプローチ事業費	1,001,895	5,801,893	△ 4,799,998
JPIC ONLINE事業費	9,499,548	13,615,986	△ 4,116,438
「ヒットマンガの裏側と読書」事業費	1,026,949	0	1,026,949
本だなプロジェクト事業費	4,678,601	0	4,678,601
管理費関係分生涯学習事業費	13,485,885	8,949,923	4,535,962
調査研究事業費	65,517,095	1,612,897	63,904,198
出版業界諸課題対策事業費	45,783,185	0	45,783,185
店頭活性化取組事業費	12,316,878	0	12,316,878
関係機関等との協力事業費	0	222,163	△ 222,163
管理費関係分調査研究事業費	7,417,032	1,390,734	6,026,298
情報提供事業費	42,462,975	43,865,353	△ 1,402,378
ホームページ運用費	3,026,377	4,588,650	△ 1,562,273
機関誌発行事業費	35,391,059	31,822,980	3,568,079
管理費関係分情報提供事業費	4,045,539	7,453,723	△ 3,408,184
交流協力事業費	31,957,091	17,833,653	14,123,438
地域読書環境整備事業費	1,052,006	7,914,519	△ 6,862,513
上野の森親子ブックフェスタ事業費	3,607,660	1,149,213	2,458,447
書店大商談会事業費	1,082,966	0	1,082,966
20歳の20冊事業費	2,029,147	478,918	1,550,229
マンガ感想文コンクール事業費	16,768,280	5,036,793	11,731,487
管理費関係分交流協力事業費	7,417,032	3,254,210	4,162,822
受託協力事業費	13,526,627	12,563,076	963,551
読書普及協力事業費	1,730	3,746,750	△ 3,745,020
住友生命健康財団受託事業費	4,287,604	4,006,256	281,348
朝日新聞受託事業費	0	18,017	△ 18,017
造本コンクール受託事業費	1,557,782	1,690,725	△ 132,943
生命保険協会受託事業費	0	30,800	△ 30,800
活字受託事業費	0	99	△ 99
「お気に入りの一冊をあなたに」事業費	3,633,972	0	3,633,972
管理費関係分受託協力事業費	4,045,539	3,070,429	975,110
出版コンテンツの海外発信事業費	210,889,109	278,438,565	△ 67,549,456
内閣府翻訳出版事業費	39,437,905	63,146,502	△ 23,708,597
国際問題研究所翻訳出版事業費	39,351,005	153,430,100	△ 114,079,095
販売・権利許諾事業費	8,207,123	7,267,165	939,958
READ JAPAN PROJECT事業費	99,617,036	0	99,617,036
管理費関係分受託協力事業費	24,276,040	54,594,798	△ 30,318,758
管理費	8,070,144	8,398,818	△ 328,674
給料手当	1,935,359	3,176,365	△ 1,241,006
役員報酬	1,201,500	1,094,500	107,000
給料手当・賞与	696,369	1,975,869	△ 1,279,500
通勤交通費	37,490	105,996	△ 68,506
退職給付費用	342,708	47,906	294,802
福利厚生費	202,408	335,543	△ 133,135
健康保険・厚生年金保険料・その他福利費	202,408	335,543	△ 133,135
会議費	33,048	32,727	321
理事会費・総会費	33,048	24,855	8,193
その他会議費	0	7,872	△ 7,872
旅費交通費	941	9,940	△ 8,999
役員旅費交通費	941	9,940	△ 8,999

		(単位 円)		
科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	
通信運搬費	241,575	153,907	87,668	
郵便料・電話料・運搬費	241,575	153,907	87,668	
消耗什器備品費	179,314	252,950	△ 73,636	
消耗什器備品費	177,279	248,158	△ 70,879	
事務用品費	2,035	4,792	△ 2,757	
印刷製本費	173,433	105,420	68,013	
コピー機維持費・印刷費	173,433	105,420	68,013	
新聞図書費	17,728	18,296	△ 568	
新聞購読料・図書資料費	17,728	18,296	△ 568	
光熱水料費	148,481	112,562	35,919	
電気料・水道料	148,481	112,562	35,919	
賃借料	1,517,688	1,517,688	0	
事務室他賃借料	1,239,636	1,239,636	0	
事務室他共益費	278,052	278,052	0	
リース料	130,474	171,432	△ 40,958	
事務機他リース料	130,474	171,432	△ 40,958	
支払手数料	410,386	470,087	△ 59,701	
振込手数料	36,942	36,080	862	
その他手数料	373,444	434,007	△ 60,563	
租税公課	1,071,708	1,349,247	△ 277,539	
消費税	1,063,660	772,780	290,880	
法人都民税	0	7,000	△ 7,000	
収入印紙	860	270	590	
利息(国税・地方税)	7,188	569,197	△ 562,009	
文字活字文化推進機構会費	208,735	584,110	△ 375,375	
雑費	196,158	60,638	135,520	
諸雑費	196,158	60,638	135,520	
役員退職金	1,260,000	0	1,260,000	
経常費用計	435,457,288	425,600,266	9,857,022	
(3) 経常外費用				
経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用				
予備費	0	11,745,000	△ 11,745,000	
経常外費用計	0	11,745,000	△ 11,745,000	
当期経常外増減額	0	△ 11,745,000	11,745,000	
当期一般正味財産増減額	△ 111,773,767	△ 35,951,251	△ 75,822,516	
一般正味財産期首残高	274,777,928	310,729,179	△ 35,951,251	
一般正味財産期末残高	163,004,161	274,777,928	△ 111,773,767	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	300,000,000	300,000,000	0	
指定正味財産期末残高	300,000,000	300,000,000	0	
II 正味財産期末残高	463,004,161	574,777,928	△ 111,773,767	

財 産 目 録

2023年3月31日現在
(第32期)

(単位 : 円)

科 目	金 額	金 額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金 現金手許有高	445,773	
普通預金 みずほ銀行九段支店	4,090,568	
普通預金 みずほ銀行九段支店	82,500	
普通預金 三菱UFJ銀行神保町支店	293,270	
普通預金 三菱UFJ銀行神田支店	100,536,075	
普通預金 三井住友銀行神田支店	30,121,219	
普通預金 りそな銀行九段支店	362,024	
普通預金 文化産業信用組合本店	621,959	
郵便振替	5,012,124	
未収金 財務諸表に対する注記5 参照	45,695,686	
前払金 4月分借室料・共益費他	1,732,742	
立替金 JRAC経費他	599,314	
流動資産合計		189,593,254
2 固定資産		
基本財産引当額		
有価証券 東京電力パワーグリッド社債	100,000,000	
有価証券 東京電力パワーグリッド社債	100,000,000	
有価証券 三井住友信託銀行 合同運用指定金銭信託	100,000,000	
基本財産合計		300,000,000
特定資産		
退職給付引当資産 文化産業信用組合本店	13,455,214	
退職給付引当資産 みずほ銀行九段支店	1,260,000	
業界課題取組準備金 三井住友銀行神田支店	40,211,311	
積立特定預金	8,000,000	
アドバイザーテキスト改訂引当特定預金 文化産業信用組合本店	8,000,000	
特定資産合計		62,926,525
その他の固定資産		
電話加入権	20,000	
借室敷金 (株)一ツ橋ビルマネージメント 宛	9,636,640	
保証金 日販アイ・ピー・エス	200,000	
その他の固定資産合計		9,856,640
固定資産合計		372,783,165
資 産 合 計		562,376,419
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金 翻訳出版事業に係る翻訳・制作費他	26,895,698	
前受金 「この本読んで！」定期購読料として	8,886,200	
預り金 職員他に対する源泉所得税・住民税、社会保険料など	663,835	
流動負債合計		36,445,733
2 固定負債		
退職給付引当金	14,715,214	
アドバイザーテキスト制作引当金	8,000,000	
業界課題引当金	40,211,311	
固定負債合計		62,926,525
負 債 合 計		99,372,258
正味財産		463,004,161

収 支 計 算 書
2022年4月1日から 2023年3月31日まで
(第32期)

(単位 :円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
基本財産運用収入	30,000	3,777	△ 26,223	
基本財産利息収入	30,000	3,777	△ 26,223	
三菱東京UFJ銀行基本財産利息収入	10,000	2,000	△ 8,000	
三井住友銀行基本財産利息収入	10,000	660	△ 9,340	
りそな銀行基本財産利息収入	10,000	1,117	△ 8,883	
特定資産運用収入	20,000	2,235	△ 17,765	
りそな銀行他特定資産利息収入	20,000	2,235	△ 17,765	
入金収入	200,000	70,000	△ 130,000	
賛助会員受取入金収入	200,000	70,000	△ 130,000	
会費収入	61,110,000	46,345,000	△ 14,765,000	
賛助会員会費収入	48,110,000	46,345,000	△ 1,765,000	241社
スポット会費	13,000,000	0	△ 13,000,000	
事業収入	433,571,000	264,393,866	△ 169,177,134	
生涯学習事業収入	26,166,000	17,360,480	△ 8,805,520	
読書アドバイザー養成講座助成金収入	1,400,000	1,000,000	△ 400,000	日本児童教育振興財団より
読書アドバイザー養成講座受講料収入	6,900,000	6,265,360	△ 634,640	
読みきかせ講習会事業収入	1,880,000	4,588,965	2,708,965	
読書アプローチ事業収入	7,106,000	825,000	△ 6,281,000	ワテラスブックフェスなど
JPIC ONLINE事業収入	8,880,000	4,681,155	△ 4,198,845	
調査研究事業収入	2,500,000	8,055,592	5,555,592	
業界課題解決のための調査・研究収入	0	0	0	
社会貢献活動事業収入	2,500,000	0	△ 2,500,000	
店頭活性化取組事業収入	0	8,055,592	8,055,592	BOOK MEETS NEXT企画参加費ほか
情報提供事業収入	27,695,000	30,838,134	3,143,134	
機関誌購読料収入	27,695,000	30,838,134	3,143,134	「この本読んで！」売上
交流協力事業収入	21,600,000	18,089,056	△ 3,510,944	
地域読書環境整備事業収入	1,600,000	0	△ 1,600,000	
上野の森親子ブックフェスタ事業収入	0	494,450	494,450	運営受託費
書店大商談会事業収入	660,000	686,300	26,300	
20歳の20冊事業収入	2,290,000	408,306	△ 1,881,694	
マンガ感想文コンクール事業収入	17,050,000	16,500,000	△ 550,000	協賛11社
受託事業収入	11,810,000	9,936,632	△ 1,873,368	
読書普及事業収入	2,300,000	232,446	△ 2,067,554	
住友生命健康財団受託事業収入	5,330,000	5,132,226	△ 197,774	「スマセイおはなしひろば」事務局受託
造本コンクール受託事業収入	1,050,000	1,050,000	0	事務局受託
「お気に入りの一冊をあなたに」協力収入	3,130,000	3,521,960	391,960	事務局受託
出版コンテンツの海外発信事業収入	343,800,000	180,113,972	△ 163,686,028	
内閣府翻訳出版事業収入	75,000,000	41,297,720	△ 33,702,280	
国際問題研究所翻訳出版事業収入	58,800,000	25,022,075	△ 33,777,925	
READ JAPAN PROJECT事業収入	200,000,000	104,148,151	△ 95,851,849	
販売・権利許諾事業収入	10,000,000	9,646,026	△ 353,974	
補助金収入	16,000,000	10,700,000	△ 5,300,000	
受取特殊法人助成金収入	16,000,000	10,700,000	△ 5,300,000	子どもゆめ基金
受取寄付金	1,500,000	2,130,200	630,200	
会員寄付金収入	1,500,000	2,130,200	630,200	2社
雑収入	100,000	38,443	△ 61,557	
受取利息収入	0	679	679	
雑収入	100,000	37,764	△ 62,236	
事業活動収入計	512,531,000	323,683,521	△ 188,847,479	

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
2事業活動支出				
事業費支出	506,127,700	382,091,550	124,036,150	
生涯学習事業費支出	72,168,550	60,348,851	11,819,699	
読書アドバイザー養成講座事業費支出	9,236,000	7,820,418	1,415,582	
読書アドバイザー養成講座運営事業費	6,044,800	4,544,381	1,500,419	
給料手当・賞与	2,616,000	2,646,440	△ 30,440	
通勤交通費	146,600	181,924	△ 35,324	
福利厚生費	428,600	447,673	△ 19,073	
JRAC関連支出	2,164,000	2,316,186	△ 152,186	JRAC運営協力
読みきかせ講習会事業費支出	18,023,000	21,204,765	△ 3,181,765	サポーター講習会
読みきかせ講習会事業費	11,248,700	14,085,137	△ 2,836,437	(子どもゆめ基金事業)
給料手当・賞与	5,676,000	5,900,702	△ 224,702	
通勤交通費	222,000	273,980	△ 51,980	
福利厚生費	876,300	944,946	△ 68,646	
読書アプローチ事業費支出	9,276,000	1,001,895	8,274,105	
読書アプローチ事業費	8,663,000	385,264	8,277,736	
給料手当・賞与	500,000	499,070	930	
通勤交通費	31,000	30,514	486	
福利厚生費	82,000	87,047	△ 5,047	
JPIC ONLINE事業費支出	10,833,000	9,499,548	1,333,452	
JPIC ONLINE事業費	4,220,000	2,219,804	2,000,196	58コンテンツ配信
給料手当・賞与	5,659,000	5,945,071	△ 286,071	
通勤交通費	380,000	408,790	△ 28,790	
福利厚生費	574,000	925,883	△ 351,883	
「ヒットマンガの裏側と読書」事業費支出	1,369,000	1,026,949	342,051	
「ヒットマンガの裏側と読書」事業費	1,000,000	637,452	362,548	(子どもゆめ基金事業)
給料手当・賞与	308,200	325,689	△ 17,489	
通勤交通費	10,500	14,934	△ 4,434	
福利厚生費	50,300	48,874	1,426	
本だなプロジェクト事業費支出	6,880,000	4,678,601	2,201,399	
本だなプロジェクト事業費	4,000,000	1,861,359	2,138,641	10か所(子どもゆめ基金事業)
給料手当・賞与	2,404,600	2,341,903	62,697	
通勤交通費	87,300	87,066	234	
福利厚生費	388,100	388,273	△ 173	
管理費関係分生涯学習事業費	14,387,550	12,800,489	1,587,061	
調査研究事業費支出	16,648,770	24,928,816	△ 8,280,046	
出版業界諸課題対策事業費支出	7,470,000	5,571,874	1,898,126	書店議連業界窓口事務/
出版業界諸課題対策費	7,470,000	5,571,874	1,898,126	BOOK MEETS NEXT イベント費用
社会貢献事業支出	1,200,000	0	1,200,000	
店頭活性化取組	0	12,316,878	△ 12,316,878	
管理費関係分調査研究事業費	7,978,770	7,040,064	938,706	
情報提供事業費支出	37,160,430	42,257,357	△ 5,096,927	
ホームページ運用費支出	2,690,000	3,026,377	△ 336,377	サーバー費など
ホームページ運用費	1,500,000	1,808,620	△ 308,620	
給料手当・賞与	993,000	999,607	△ 6,607	
通勤交通費	71,000	55,735	15,265	
福利厚生費	126,000	162,415	△ 36,415	
機関誌発行事業費支出	29,875,000	35,391,059	△ 5,516,059	
機関誌発行事業費	24,455,000	29,926,152	△ 5,471,152	「この本読んで」関連費用
給料手当・賞与	4,517,000	4,506,177	10,823	
通勤交通費	187,000	222,416	△ 35,416	
福利厚生費	716,000	736,314	△ 20,314	
管理費関係分情報提供事業費	4,595,430	3,839,921	755,509	
交流協力事業費支出	31,755,400	31,580,123	175,277	
地域読書環境整備事業費支出	1,620,000	1,052,006	567,994	
地域読書環境整備事業費	600,000	130,350	469,650	
給料手当・賞与	847,500	751,050	96,450	
通勤交通費	36,000	37,805	△ 1,805	
福利厚生費	136,500	132,801	3,699	
上野の森親子ブックフェスタ事業費支出	3,760,000	3,607,660	152,340	
上野の森親子ブックフェスタ事業費	700,000	502,750	197,250	
給料手当・賞与	2,630,000	2,646,216	△ 16,216	
通勤交通費	124,000	92,545	31,455	
福利厚生費	306,000	366,149	△ 60,149	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
20歳の20冊事業費支出	2,340,000	2,029,147	310,853	
20歳の20冊事業費	640,000	493,059	146,941	4自治体で採用
給料手当・賞与	1,412,500	1,251,750	160,750	
通勤交通費	60,000	63,007	△ 3,007	
福利厚生費	227,500	221,331	6,169	
マンガ感想文コンクール事業費支出	15,270,000	16,768,280	△ 1,498,280	
マンガ感想文コンクール事業費	10,247,000	11,531,294	△ 1,284,294	
給料手当・賞与	4,140,000	4,233,601	△ 93,601	
通勤交通費	203,000	309,114	△ 106,114	
福利厚生費	680,000	694,271	△ 14,271	
書店大商談会事業費支出	1,059,000	1,082,966	△ 23,966	
書店大商談会事業費	0	22,334	△ 22,334	
給料手当・賞与	945,000	943,070	1,930	
通勤交通費	32,000	30,514	1,486	
福利厚生費	82,000	87,048	△ 5,048	
管理費関係分交流協力事業費	7,706,400	7,040,064	666,336	
受託事業費・業務協力事業費支出	14,047,760	13,321,009	726,751	
読書普及協力事業費支出	190,000	1,730	188,270	
読書普及協力事業費	190,000	1,730	188,270	
住友生命健康財団受託事業費支出	4,588,000	4,287,604	300,396	
住友生命健康財団受託事業費	2,370,000	1,530,688	839,312	「スマセイおはなしひろば」運営費
給料手当・賞与	1,880,000	2,363,001	△ 483,001	
通勤交通費	95,000	82,250	12,750	
福利厚生費	243,000	311,665	△ 68,665	
造本コンクール受託事業費支出	1,470,000	1,557,782	△ 87,782	
「お気に入りの一冊をあなたに」協力事業費支出	3,783,000	3,633,972	149,028	
「お気に入りの一冊をあなたに」事業費	1,700,000	1,680,912	19,088	
給料手当・賞与	1,730,000	1,601,470	128,530	
通勤交通費	73,000	72,794	206	
福利厚生費	280,000	278,796	1,204	
管理費関係分受託・協力事業費	4,016,760	3,839,921	176,839	
出版コンテンツの海外発信事業費支出	334,346,790	209,655,394	124,691,396	
内閣府翻訳出版事業費支出	57,130,000	39,437,905	17,692,095	
内閣府翻訳出版事業費	40,000,000	22,530,360	17,469,640	2作品を出版
給料手当・賞与	14,423,000	14,087,276	335,724	
通勤交通費	478,000	466,280	11,720	
福利厚生費	2,229,000	2,353,989	△ 124,989	
国際問題研究所翻訳出版事業費支出	49,715,000	39,351,005	10,363,995	
国際問題研究所翻訳出版事業費	36,600,000	26,021,484	10,578,516	1作品を出版
給料手当・賞与	11,103,000	11,048,671	54,329	
通勤交通費	324,500	420,493	△ 95,993	
福利厚生費	1,687,500	1,860,357	△ 172,857	
販売・権利許諾事業費支出	8,400,000	8,207,123	192,877	
販売・権利許諾費	5,000,000	5,387,200	△ 387,200	
給料手当・賞与	2,800,000	2,272,542	527,458	
通勤交通費	140,000	123,594	16,406	
福利厚生費	460,000	423,787	36,213	
READ JAPAN PROJECT事業費支出	193,515,000	99,617,036	93,897,964	100機関へ寄贈
READ JAPAN PROJECT事業費	182,000,000	88,508,469	93,491,531	
給料手当・賞与	9,695,000	9,300,205	394,795	
通勤交通費	255,000	270,593	△ 15,593	
福利厚生費	1,565,000	1,537,769	27,231	
管理費関係出版コンテンツの海外発信事業費	25,586,790	23,042,325	2,544,465	
管理費支出	7,141,300	6,467,345	673,955	
給与手当支出	2,057,100	1,935,359	121,741	
役員報酬支出	1,296,000	1,201,500	94,500	
給料手当・賞与支出	720,000	696,369	23,631	
通勤交通費支出	41,100	37,490	3,610	
福利厚生費支出	204,200	202,408	1,792	
健保厚年保険料・その他福利費支出	204,200	202,408	1,792	
会議費支出	35,000	33,048	1,952	
理事会費・総会費支出	30,000	33,048	△ 3,048	
その他会議費	5,000	0	5,000	
旅費交通費支出	20,000	941	19,059	
役職員交通費支出	20,000	941	19,059	
通信運搬費支出	160,000	241,575	△ 81,575	
郵便料・電話料・運搬費支出	160,000	241,575	△ 81,575	
消耗品費支出	270,000	179,314	90,686	
消耗什器備品費支出	85,000	177,279	△ 92,279	
事務用品費支出	158,000	2,035	155,965	
修繕費支出	27,000	0	27,000	

(単位 :円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
印刷製本費	110,000	173,433	△ 63,433	
コピー機維持費・印刷費支出	110,000	173,433	△ 63,433	
新聞図書費支出	20,000	17,728	2,272	
新聞図書費支出	20,000	17,728	2,272	
光熱水料費支出	120,000	148,481	△ 28,481	
電気料・水道料支出	120,000	148,481	△ 28,481	
賃借料支出	2,085,000	1,517,688	567,312	
賃借料支出	1,715,000	1,239,636	475,364	
賃借共益費支出	370,000	278,052	91,948	
リース料支出	260,000	130,474	129,526	
事務機他リース料支出	260,000	130,474	129,526	
支払手数料支出	470,000	410,386	59,614	
振込手数料支出	47,000	36,942	10,058	
その他支払手数料支出	423,000	373,444	49,556	
租税公課支出	1,000,000	1,071,617	△ 71,617	
国税・消費税・都民税・収入印紙	1,000,000	1,071,617	△ 71,617	
研修費	10,000	0	10,000	
研修費	10,000	0	10,000	
文字・活字文化推進機構会費支出	240,000	208,735	31,265	
雑費支出	80,000	196,158	△ 116,158	
事業活動支出計	513,269,000	388,558,895	124,710,105	
事業活動収支差額	△ 738,000	△ 64,875,374	△ 64,137,374	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
基本財産取崩収入	100,000,000	200,000,000	100,000,000	
特定資産取崩収入	200,000,000	209,788,738	9,788,738	
アドバイザーテキスト預金取崩収入	0	49	49	
建設預金取崩収入	200,000,000	200,000,000	0	
業界課題取崩収入	0	9,788,689	9,788,689	
投資活動収入計	300,000,000	409,788,738	109,788,738	
2 投資活動支出				
基本財産取得支出	200,000,000	200,000,000	0	
特定資産取得支出	105,000,000	56,687,131	48,312,869	
アドバイザーテキスト制作引当資産取得支出	2,000,000	2,000,049	△ 49	
退職給付引当資産取得支出	3,000,000	4,687,082	△ 1,687,082	
業界課題資産取得引当金	100,000,000	50,000,000	50,000,000	
投資活動支出計	305,000,000	256,687,131	△ 1,687,082	
投資活動収支差額	△ 5,000,000	153,101,607	158,101,607	
III 予備費				
予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	△ 5,738,000	88,226,233	93,964,233	
前期繰越収支差額	64,921,288	64,921,288	0	
次期繰越収支差額	59,183,288	153,147,521	93,964,233	

財務諸表に対する注記(第32期)

1 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

(2) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引

リース物件の所有権が借主に移転すると認められる以外のファイナンス・リース物件については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	300,000,000	200,000,000	200,000,000	300,000,000
小 計	300,000,000	200,000,000	200,000,000	300,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	10,028,132	4,687,082	0	14,715,214
積立特定資産	206,000,000	52,000,000	209,788,689	48,211,311
小 計	216,028,132	56,687,082	209,788,689	62,926,525
合 計	516,028,132	256,687,082	409,788,689	362,926,525

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	うち指定正味 財産からの充 当額	うち一般正味 財産からの充 当額	うち負債に対 応する額
基本財産				
有価証券	300,000,000	300,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	14,715,214	0	4,687,082	0
積立特定引当資産	48,211,311	0	52,000,000	0
合 計	362,926,525	300,000,000	56,687,082	0

4 その他固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

その他固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
電話加入権	20,000	0	20,000
借室敷金	9,636,640	0	9,636,640
保証金	200,000	0	200,000
合 計	9,856,640	0	9,856,640

5 債権の債権金額、当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

科 目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権当期末残高
未収金			
情報提供事業収益	1,134,292	0	1,134,292
受託協力事業収益	613,581	0	613,581
生涯学習事業収益	705,570	0	705,570
調査研究事業収益	999,900	0	999,900
出版コンテンツの海外発信事業収益	38,042,343	0	38,042,343
国立青少年機構ゆめ基金残金	4,100,000	0	4,100,000
賛助会員会費	100,000	0	100,000
合 計	45,695,686	0	45,695,686

財務諸表に対する注記(第32期)

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金						
2022年度 子どもたちを物語の世界へ	国立青少年教育振興機構	0	2,000,000	0	2,000,000	一般正味財産
2022年度 ヒットマンガの裏側と読書	国立青少年教育振興機構	0	600,000	0	600,000	
2022年度 サポーター講習会基礎編	国立青少年教育振興機構	0	2,740,000	0	2,740,000	
2022年度 サポーター講習会学びを深める編	国立青少年教育振興機構	0	4,160,000	0	4,160,000	
2022年度 本だなプロジェクト	国立青少年教育振興機構	0	1,200,000	0	1,200,000	
合計		0	10,700,000	0	10,700,000	

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	3,777
合計	3,777

8 引当金の明細

(単位 円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	10,028,132	4,687,082	0	0	14,715,214
アドバイザーテキスト制作引当金	6,000,000	2,000,000	0	0	8,000,000
業界課題引当金	0	50,000,000	9,788,689	0	40,211,311

収支計算書に対する注記(第32期)

1. 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、立替金、仮払金、未払金、前受金、預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越差額に含まれる資産及び負債の内訳


科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現金預金	32,106,793	141,565,512
未収金	76,207,959	45,695,686
前払金	1,732,742	1,732,742
立替金	462,697	599,314
合計	110,510,191	189,593,254
未払金	38,955,328	26,895,698
前受金	5,747,500	8,886,200
預り金	886,075	663,835
合計	45,588,903	36,445,733
次期繰越収支差額	64,921,288	153,147,521

監査報告

2023年5月26日

一般財団法人出版文化産業振興財団
理事長 近藤敏貴 殿

監事 桶田大介 

監事 能勢正幸 

監事 平井茂 

私たち監事は、第32期2022年4月1日から2023年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、財産目録、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算関係書類及び附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算関係書類及び附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

2023 年度事業計画並びに予算

1. 生涯学習事業

①「JPIC 読書アドバイザー養成講座」第30期を開講

1993年のスタート以来、「読書」と「生涯学習」をコーディネートする人材の育成を目的に毎年開講している。今期は9月より開講、より受講生間の交流の機会を増やすべく、すべての講義を会場開催とする（27～29期はオンライン併用）。また改訂（5年に1度）した電子テキストを使用、カリキュラムも一新。新テキストは修了生の希望者にも有償提供し「学び直し」にも対応する予定。

②JRACの活動協力

修了者の自主運営組織である「JPIC 読書アドバイザークラブ（JRAC）」の活動をサポートする。学習会や読書関連催事の共催も検討する。第5回「親子で読んでほしい絵本大賞」を実施予定。

③絵本・読みきかせ・子どもの読書に関する各種読書講習会

JPIC 読みきかせ講座の「基礎編」を4回、「学びを深める編」を3回、「子どもたちを本の世界へ」を1回、全国で開催予定。これまでの23年間540回超の開催実績をベースに、内容をさらに充実させ、子どもと本の出合いに尽力される方の学びの場を提供する。

④さまざまな層への読書アプローチ

若年層へのアプローチとして、10代20代の学生とともに本の多様性・読書の面白さを体感する読書アプローチ事業を展開予定。オンラインイベントも併用し、全国からアクセスが可能な読書コミュニティの形成をめざす。

⑤JPIC ONLINEの配信本数の見直しと内容のブラッシュアップ

絵本・児童文学・文芸・芸術などジャンルを横断した質の高い講座を定期的にオンラインで配信。

⑥本だなプロジェクト

SDGsの『貧困をなくそう』『質の高い教育をみんなに』の実現に向けて昨年度よりスタート。子ども食堂や無料塾などに、本と本棚を寄贈し、おはなし会を開催する。今年度は開催施設数を拡大し、更に当活動を「業界にも還元する内容」に変更しておこなう。

2. 調査研究事業

①出版業界諸課題の改善・解決に向け研究・検討

業界横断型組織として、さまざまな業界課題を解決するための調査・研究をおこな

い、出版業界が団結するための中心的な役割を担う。

「街の本屋さんを元気にして、日本の文化を守る議員連盟」では、第一次提言及び骨太の方針への取り上げをめざす。

「BOOK MEETS NEXT2023」では、昨年の経験を活かしサートラスの助成や出版界以外からの協賛も集め、普段書店に足を運ばない方々にも向けた新たな取り組みを展開する。

3. 情報提供事業

①JPIC NEWSLETTER

賛助会員および関係各方面に JPIC 活動の報告・案内を目的に、月 1 回程度発行。

②WEB 情報発信ツール（ホームページ・SNS・メールマガジン）

読書関連催事等の情報提供ツールとして活用。リニューアルしたホームページを活かし、SNS との連携で若年層へさらなるアピールを継続する。また、絵本・書籍・読書に関心の高い方のメールマガジン登録 14,000 件を目標に促進。DM 費の削減、顧客層の拡大を図る。

③『この本読んで！』発行

2001 年 11 月創刊、季刊（第 87～90 号、6 月・9 月・12 月・24 年 3 月初旬）、9,000 部発行。「JPIC 読みきかせサポーター講習会／JPIC 読みきかせ講座」「子どもたちを本の世界へ」でのテキスト使用や、JPIC ONLINE との協力など、相乗効果による内容充実を図るほか、さらに広く手に取っていただけるよう販促をかけて収益アップをめざす。

4. 交流協力事業

①地域読書環境整備事業

各自治体に協働のアピールをしつつ、要請のある自治体の読書推進をサポートする。なお、イベント毎の対応ではなく「子育て支援・読書推進」をキーワードに自治体と包括契約を進め、事業の安定をめざす。

また「20 歳の 20 冊」という 20 冊の本が掲載された冊子を制作。自治体を通じて配布し若者への読書推進を図る。

②「上野の森 親子ブックフェスタ」の開催

2023 年 5 月 4 日～5 日、昨年に続き台東区・上野恩賜公園および周辺施設にて「上野の森 親子ブックフェスタ 2023」が開催された。22 回目の開催となる今回は、昨年同様キャッシュレス決済のみとしたほか、レジを 6 テントごとに設置するなど位置を分散し、混雑緩和の対策もおこなった。また、サイン会や読みきかせ、講演会など数々

のイベントも開催。64 者出展し、昨年の 3 日間開催を上回る約 3,150 万円の売り上げを記録、来場者数も約 26,300 人を数え、盛況を極めた。子どもの読書推進会議、日本児童図書出版協会との三者共催事業。

③「書店大商談会」への協力

第七回「北海道書店大商談会」（今年度開催中止）、「BOOK EXPO 2023」（11 月 7 日大阪市にて開催予定）、第十二回「書店大商談会」（秋会場開催予定）の事務局として協力を検討。

④マンガ感想文コンクール

2022 年度の全国開催を経て、多数のコミック出版社・出版関係団体のご理解・ご協力のもと、2023 年度は 7 月より募集開始、結果発表・授賞式は 2024 年 3 月予定。

5. 受託事業・業務等

①各社・団体の読書普及事業への協力

日本出版販売の書店での読みきかせ会「おはなしマラソン」、本を手渡す人材の育成のための講師派遣など、団体・企業の読書推進事業をサポート。

②「スミセイおはなしひろば」への協力

公益財団法人 住友生命健康財団主催。2 地域／関東地区（神奈川県・東京都）の幼稚園・保育園を対象に、各地域 40 園程度おはなし会を実施。

③「第 56 回 造本装幀コンクール」への協力

日本書籍出版協会と日本印刷産業連合会が主催の「第 56 回造本装幀コンクール」。2022 年に初版発行された書籍が対象。5 月 23 日に審査会を開催し、159 者 315 点の応募作品の中から、21 作品が入賞。9 月には神保町の出版クラブホールで表彰式、ライブラリーで全応募作品の公開展示をおこなう。

④「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」への協力

公益財団法人博報堂教育財団が 2020 年度にスタートさせた「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」。第 3 回も JPIC は審査や作品集の作成に協力し、子どもの読書推進の一翼を担う。

6. 出版コンテンツの海外発信事業

①内閣府 翻訳出版事業への協力

内閣府による「対日理解の促進に資する書籍の翻訳出版事業」に協力する。日本の優れたノンフィクション書籍を英訳出版し、国内外の研究者・学生・読者に活用されるよう寄贈・販売をおこなう。

②日本国際問題研究所 翻訳出版事業への協力

公益財団法人日本国際問題研究所の翻訳出版事業に協力する。政治・外交・歴史分野の書籍を英訳出版し、国内外の研究者・学生・読者に活用されるよう寄贈・販売をおこなう。

③「READ JAPAN PROJECT」への協力

公益財団法人東京財団政策研究所が実施する「日本理解促進のための図書寄贈事業（READ JAPAN PROJECT）」（日本財団助成）に協力する。日本に関する英文図書を世界各国の図書館や研究機関に寄贈する。

なお、2024年度には寄贈候補リストが倍増するため、今年度中に物流や倉庫・出荷体制の構築を図る。

④著作権関連事業への取り組み

従来の翻訳を中心とした事業に加え、著作権に関わる事業にも新たに携わる。そのため、今年度より「東京著作権説明会」を主催し、日本の出版社の海外著作権ビジネスへのサポートを図る。加えて、英文の解説文「シノプシス」や「英文サンプル」の製作受託も請け負い、人材の活用と海外発信力を強化する。

収支予算書

2023年4月1日から 2024年3月31日まで
(第33期)

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,300,000	30,000	1,270,000
基本財産運用利息	1,300,000	30,000	1,270,000
特定資産運用益	10,000	20,000	△ 10,000
会館建設他特定資産受取利息	10,000	20,000	△ 10,000
受取入会金	500,000	200,000	300,000
賛助会員受取入会金	500,000	200,000	300,000
受取会費	62,000,000	61,110,000	890,000
賛助会員受取会費	50,000,000	48,110,000	1,890,000
書店一般会員会費	12,000,000	0	12,000,000
スポット会費	0	13,000,000	△ 13,000,000
事業収益	301,271,000	433,571,000	△ 132,300,000
生涯学習事業収益	21,503,000	26,166,000	△ 4,663,000
読書アドバイザー養成講座助成金収益	1,000,000	1,400,000	△ 400,000
読書アドバイザー養成講座受講料収益	6,283,000	6,900,000	△ 617,000
読みきかせ講習会参加費収益	2,420,000	1,880,000	540,000
読書アプローチ事業収益	0	7,106,000	△ 7,106,000
JPIC ONLINE事業収益	2,250,000	8,880,000	△ 6,630,000
e-ラーニング事業収益	5,000,000	0	5,000,000
本だなプロジェクト事業収益	4,550,000	0	4,550,000
調査研究事業収益	22,236,000	2,500,000	19,736,000
業界課題解決のための調査・研究収益	19,736,000	0	19,736,000
社会貢献活動収益	2,500,000	2,500,000	0
情報提供事業収益	30,045,000	27,695,000	2,350,000
機関誌購読料収益	30,045,000	27,695,000	2,350,000
交流協力事業収益	21,570,000	21,600,000	△ 30,000
地域読書環境整備事業収益	0	1,600,000	△ 1,600,000
20歳の20冊事業収益	800,000	2,290,000	△ 1,490,000
上野の森親子フェスタ事業収益	320,000	0	320,000
書店大商談会受託事業収益	1,200,000	660,000	540,000
マンガ感想文コンクール収益	19,250,000	17,050,000	2,200,000
受託業務協力事業収益	12,202,000	11,810,000	392,000
読書普及事業収益	2,300,000	2,300,000	0
住友生命健康財団受託事業収益	5,330,000	5,330,000	0
造本コンクール受託事業収益	1,050,000	1,050,000	0
「お気に入りの一冊をあなたに」協力収益	3,522,000	3,130,000	392,000
出版コンテンツの海外発信事業収益	193,715,000	343,800,000	△ 150,085,000
内閣府翻訳出版事業収益	20,000,000	75,000,000	△ 55,000,000
国際問題研究所翻訳出版事業収益	43,000,000	58,800,000	△ 15,800,000
READ JAPAN PROJECT収益	102,715,000	200,000,000	△ 97,285,000
著作権関連事業収益	20,000,000	0	20,000,000
販売・権利許諾事業収益	8,000,000	10,000,000	△ 2,000,000
受取補助金等	56,338,000	16,000,000	40,338,000
受取特殊法人助成金	56,338,000	16,000,000	40,338,000
受取寄付金	1,500,000	1,500,000	0
会員受取寄付金	1,500,000	1,500,000	0
雑収益	110,000	100,000	10,000
受取利息	10,000	0	10,000
雑収益	100,000	100,000	0
経常収益計	423,029,000	512,531,000	△ 89,502,000

(単位 円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
(2) 経常費用			
事業費	410,015,000	506,127,700	△ 96,112,700
生涯学習事業費	66,892,000	72,168,550	△ 5,276,550
読書アドバイザー養成講座事業費	9,911,000	9,236,000	675,000
J R A C 関係事業費	2,243,000	2,164,000	79,000
読みきかせ講習会運営事業費	19,821,000	18,023,000	1,798,000
読書アプローチ事業費	604,000	9,276,000	△ 8,672,000
JPIC ONLINE事業費	5,004,000	10,833,000	△ 5,829,000
e-ラーニング事業費	6,061,000	1,369,000	4,692,000
本だなプロジェクト事業費	10,151,000	6,880,000	3,271,000
管理費関係分生涯学習事業費	13,097,000	14,387,550	△ 1,290,550
調査研究事業費	68,848,000	16,648,770	52,199,230
出版業界諸課題対策事業費	57,825,000	7,470,000	50,355,000
社会貢献事業費	1,200,000	1,200,000	0
管理費関係分調査研究事業費	9,823,000	7,978,770	1,844,230
情報提供事業費	36,631,000	37,160,430	△ 529,430
ホームページ運用費	2,834,000	2,690,000	144,000
機関誌発行事業費	29,868,000	29,875,000	△ 7,000
管理費関係分情報提供事業費	3,929,000	4,595,430	△ 666,430
交流協力事業費	34,316,000	31,755,400	2,560,600
地域読書環境整備事業費	1,328,000	1,620,000	△ 292,000
20歳の20冊事業費	3,487,000	2,340,000	1,147,000
上野の森親子フェスタ事業費	3,164,000	3,760,000	△ 596,000
書店大商談会受託事業費	440,000	1,059,000	△ 619,000
マンガ感想文コンクール事業費	18,694,000	15,270,000	3,424,000
管理費関係分交流協力事業費	7,203,000	7,706,400	△ 503,400
受託業務協力事業費	16,391,000	14,047,760	2,343,240
読書普及協力事業費	190,000	190,000	0
住友生命受託事業費	4,712,000	4,588,000	124,000
造本コンクール受託事業費	2,736,000	1,470,000	1,266,000
「お気に入りの一冊をあなたに」協力事業費	3,514,000	3,783,000	△ 269,000
管理費関係分交流協力事業費	5,239,000	4,016,760	1,222,240
出版コンテンツの海外発信事業	186,937,000	334,346,790	△ 147,409,790
内閣府翻訳出版事業費	16,297,000	57,130,000	△ 40,833,000
国際問題研究所翻訳出版事業費	27,022,000	49,715,000	△ 22,693,000
READ JAPAN PROJECT事業費	96,678,000	193,515,000	△ 96,837,000
著作権関連事業費	16,511,000	0	16,511,000
販売・権利許諾事業費	10,784,000	8,400,000	2,384,000
管理費関係分情報提供事業費	19,645,000	25,586,790	△ 5,941,790

(単位 円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
管理費	6,548,000	7,141,300	△ 593,300
給与手当	2,081,000	2,057,100	23,900
役員報酬	1,296,000	1,296,000	0
給料手当・賞与	744,000	720,000	24,000
通勤交通費	41,000	41,100	△ 100
福利厚生費	175,000	204,200	△ 29,200
健保厚年保険料・その他福利厚生	175,000	204,200	△ 29,200
会議費用	32,000	35,000	△ 3,000
理事会費・総会費	32,000	30,000	2,000
その他委員会費	0	5,000	△ 5,000
旅費交通費	2,000	20,000	△ 18,000
旅費交通費	2,000	20,000	△ 18,000
通信運搬費	200,000	160,000	40,000
郵便料・電話料・運搬費	200,000	160,000	40,000
消耗品費	216,000	270,000	△ 54,000
消耗什器備品費	68,000	85,000	△ 17,000
事務用品費	121,000	158,000	△ 37,000
修繕費	27,000	27,000	0
印刷製本費	160,000	110,000	50,000
コピー機維持費・印刷費	160,000	110,000	50,000
新聞図書費	18,000	20,000	△ 2,000
新聞図書費	18,000	20,000	△ 2,000
光熱水料費	140,000	120,000	20,000
電気料・水道料	140,000	120,000	20,000
賃借料	1,518,000	2,085,000	△ 567,000
賃借料	1,240,000	1,715,000	△ 475,000
賃借共益費	278,000	370,000	△ 92,000
リース料	170,000	260,000	△ 90,000
事務機他リース料	170,000	260,000	△ 90,000
支払手数料	450,000	470,000	△ 20,000
振込手数料	45,000	47,000	△ 2,000
その他手数料	405,000	423,000	△ 18,000
租税公課	1,090,000	1,000,000	90,000
消費税	1,080,500	990,500	90,000
法人都民税	7,000	7,000	0
収入印紙	1,000	1,000	0
国税・地方税	1,500	1,500	0
文字活字文化推進機構会費	100,000	240,000	△ 140,000
研修費	0	10,000	△ 10,000
雑費	196,000	80,000	116,000
経常費用計	416,563,000	513,269,000	△ 96,706,000
経常収支差額	6,466,000	△ 738,000	7,204,000

(単位 円)

科	目	予 算 額	前年度予算額	増 減
II	投資活動収支の部			
	(1)投資活動収入			
	会館建設引当資産取崩収入	0	200,000,000	△ 200,000,000
	基本財産引当資産取崩収入	0	100,000,000	△ 100,000,000
	アドバンステキスト制作引当資産取崩収入	0	0	0
	投資活動収入計	0	300,000,000	△ 300,000,000
	(2)投資活動支出			
	基本財産引当資産取得支出	0	200,000,000	△ 200,000,000
	業界課題取組準備金引当資産取得支出	0	100,000,000	△ 100,000,000
	退職給付引当資産取得支出	3,630,000	3,000,000	630,000
	アドバンステキスト制作引当資産取得支出	2,000,000	2,000,000	0
	投資活動支出計	5,630,000	305,000,000	△ 299,370,000
	投資活動収支増減額	△ 5,630,000	△ 5,000,000	△ 630,000
III	予備費支出	0	0	0
	当期収支差額	836,000	△ 5,738,000	6,574,000
	前期繰越収支差額	153,147,521	64,921,288	88,226,233
	次期繰越収支差額	153,983,521	59,183,288	94,800,233

財団案内図

- 名称 一般財団法人出版文化産業振興財団
■所在地 〒101-0051
東京都千代田区神田神保町 2 丁目 2 番地 30 共同ビル神保町 4 階
TEL.03-5211-7282 FAX.03-5211-7285
<https://www.jp-pic.or.jp/>



交通

- 神保町駅 A3 出口 徒歩 1 分 (地下鉄/半蔵門線 都営/新宿線・三田線)
水道橋駅 東出口 徒歩 7 分 (JR/総武線・中央線)

一般財団法人出版文化産業振興財団
定 款

一般財団法人出版文化産業振興財団 定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、一般財団法人出版文化産業振興財団（英文名 Japan Publishing Industry Foundation for Culture。略称「JPIC」）と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都千代田区に置く。
2 この法人は、理事会の決議によって従たる事務所を必要な地に置くことができる。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、出版文化産業及び読書活動に係る生涯学習の推進、出版文化産業及び読書活動に関する調査及び研究、人材育成、情報の収集及び提供等を行うことにより同産業の振興を図るとともに、読書活動の推進をはかることにより、我が国経済社会の健全な発展・国民の生活文化の向上・青少年の健全育成に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的に資するため、次の事業を行う。
(1) 出版文化産業及び読書活動に係る生涯学習の推進
(2) 出版文化産業及び読書活動に関する調査及び研究
(3) 出版文化産業及び読書活動に関する人材育成
(4) 出版文化産業及び読書活動に関する情報収集及び提供
(5) 出版文化産業及び読書活動に関する内外関係機関等との交流及び協力
(6) 前各号に掲げるもののほか、本財団の目的を達成するために必要な事業
2 前項の事業は、日本全国及び海外において行うものとする。

第3章 資産及び会計

(資産の構成)

第5条 この法人の目的である事業を行うために不可欠な財産は、この法人の基本財産とする。
2 基本財産は、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管

理しなければならず、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を得なければならない。

(事業年度)

第 6 条 この法人の事業年度は、毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

(事業報告及び決算)

第 7 条 事業報告書及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、定時評議員会に提出し、第 1 号及び第 2 号の書類についてはその内容を報告し、第 3 号から第 5 号までの書類については承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
 - (2) 事業報告の附属明細書
 - (3) 貸借対照表
 - (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
 - (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
- 2 前項の書類のほか、監査報告を主たる事務所に 5 年間備え置くとともに、定款を主たる事務所に備え置くものとする。
- 3 この法人は、剰余金の分配を行うことができない。

第 4 章 評議員

(評議員)

第 8 条 この法人に評議員 10 名以上 15 名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第 9 条 評議員の選任及び解任は、評議員会の決議をもって行う。

(任 期)

- 第 10 条 評議員の任期は、選任後 4 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 2 任期満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。
- 3 第 8 条に定める評議員の員数が欠けた場合には、任期の満了又は辞任により退任した評議員は、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員に対する報酬)

第 11 条 評議員の報酬は、無報酬とする。

第5章 評議員会

(構成)

第12条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

(権限)

第13条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）並びにこれらの附属明細書の承認
- (4) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分又は除外の承認
- (8) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第14条 この法人の評議員会は、定時評議員会及び臨時評議員会とする。定時評議員会は、毎事業年度の終了後3ヶ月以内に開催し、臨時評議員会は、必要に応じて開催する。

(召集)

第15条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が召集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び召集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第16条 評議員会の決議は、評議員（決議について特別の利害関係を有する評議員を除く。）の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、評議員（決議について特別の利害関係を有する評議員を除く。）の3分の2以上に当たる多数を持って行う。

- (1) 監事の解任
- (2) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (3) 定款の変更
- (4) 基本財産の処分又は除外の承認
- (5) その他法令で定められた事項

(決議の省略)

第17条 理事が、評議員会の目的である事項について提案した場合において、その提案

について、議決に加わることのできる評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

第 18 条 理事が、評議員の全員に対し、評議員会に報告すべき事項を通知した場合において、その事項を評議員会に報告することを要しないことについて、評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その事項の評議員会への報告があったものとみなす。

(議事録)

第 19 条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成し、議長並びに出席評議員及び理事の各 1 名がこれに記名押印するものとする。

第 6 章 役員等

(役員)

第 20 条 この法人に次の役員を置く。

- (1) 理事 10 名以上 20 名以内
- (2) 監事 3 名以内
- 2 理事のうち 1 名を理事長とし、4 名以内を副理事長、1 名を専務理事、4 名以内を常務理事、2 名以内を業務執行理事とすることができる。
- 3 前項の理事長をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とする。

(役員を選任)

第 21 条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

- 2 理事長及び、副理事長、専務理事、常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。
- 3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 91 条第 1 項第 2 号に定める業務執行理事は理事会の決議によって理事の中から選定し、うち 1 名は専務理事とする。

(理事の職務及び権限)

第 22 条 理事は理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 理事長は、この法人を代表し、法人の業務を執行し、専務理事及びその他の業務執行理事は、理事会において別の定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。
- 3 理事長、専務理事及びその他の業務執行理事は、毎事業年度に 4 ヶ月を超える

間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

- 第23条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。
- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

- 第24条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了するときまでとする。
- 4 理事又は監事は、第20条に定める定数に足りなくなるときは、辞任又は任期満了後においても、新たに選任された者が就任するまでは、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員改選)

- 第25条 理事及び監事が次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。
- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(報酬等)

- 第26条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、常勤の理事及び監事に対しては、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬等として支給することができる。

(役員損害賠償責任の免除)

- 第27条 この法人は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第198条において準用する同法第114条第1項の規定により、理事又は監事が任務を怠ったことによる損害賠償責任を、法令に規定する額を限度として理事会の決議により免除することができる。

(外部役員責任限定契約)

- 第28条 この法人は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第198条において準用する同法第115条第1項の規定により、外部理事又は外部監事との間に、任務を怠ったことによる損害賠償責任の限定契約を締結することができる。
- なお、責任の限度額は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第198条

において準用する同法第 113 条第 1 項の規定による最低責任限度額とする。

(顧問)

- 第 29 条 この法人に、顧問 5 人以内を置くことができる。
- 2 顧問は、学識経験者又はこの法人に功労のあった者のうちから、理事会の推薦により、理事長が委嘱する。また解任については理事会において決議する。
- 3 顧問は、この法人の運営に関して理事長の諮問に答え、又は理事長に対して意見を述べる。
- 4 顧問の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 5 顧問の報酬は無償とする。
- 6 顧問の選任及び解任は、理事会において決議する。

第 7 章 理事会

(構成)

- 第 30 条 理事会は、すべての理事で構成する。

(権限)

- 第 31 条 理事会は、次に掲げる職務を行う。
- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長及び業務執行理事の選定及び解職

(召集)

- 第 32 条 理事会は、理事長が招集する。
- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。
- 3 理事会を招集する者は、理事会の日時、場所、目的、その他必要な事項を記載した書面をもって、理事会の日の 1 週間前までに、各理事及び各監事に対してその通知を発しなければならない。
- 4 前項の規定にかかわらず、理事会は、理事及び監事の全員の同意があるときは、召集の手続きを経ることなく開催することができる。

(議長)

- 第 33 条 理事会の議長は、理事長とする。

(決議)

- 第 34 条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 197 条において準用する同法第 96 条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(決議の省略)

- 第 35 条 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、その提案について、議決に加わることのできる理事全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなすものとする。ただし、監事が異議を述べたときは、その限りではない。

(報告の省略)

- 第 36 条 理事又は監事が理事及び監事の全員に対し、理事会に報告すべき事項を通知した場合においては、その事項を理事会に報告することを要しない。
- 2 前項の規定は、第 22 条第 3 項の規定による報告には適用しない。

(議事録)

- 第 37 条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。
- 2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に署名し、又は記名押印する。

第 8 章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

- 第 38 条 この法人は、評議員会の決議によって定款を変更することができる。
- 2 前項の規定は、この定款の第 3 条、第 4 条及び第 9 条についても適用する。

(解 散)

- 第 39 条 この法人は、基本財産の滅失によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由により解散する。
- 2 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 5 条第 17 号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第 9 章 公告の方法

(広告の方法)

- 第 40 条 この法人の公告方法は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法とする。

第10章 事務局

(事務局)

第41条 この法人に事務局を置く。事務局の組織及び運営に関して必要な事項は理事会で定める。

第11章 雑 則

(委 任)

第42条 この定款に定めるもののほか、この法人の運営に必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める一般法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と一般法人の設立の登記を行ったときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。
- 3 この法人の設立当初の事業年度は、第6条の規定にかかわらず、この法人の成立の日から平成25年3月31日までとする。
- 4 この法人の最初の理事長は肥田美代子とする。
- 5 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。

秋田貞美	伊藤富士男	山去賢二
柳楽節雄	大橋一弘	土屋正三
井上一夫	坂井宏先	川島孝文
今村正樹	斎藤健司	筒井正博
関谷幸一	齊藤隆巳	江崎直利
高納勝寿	伊藤 聡	田江泰彦
清水康史	谷川直人	片岡 隆
増田義和	加藤真由美	小泉忠男
大塚 茂	金田 徹	亀井忠雄
鈴木一行	岩本幸子	石川博史
鹿谷史明	和田年正	北島義斉
岩渕 徹	森岡忠弘	大湊 満
溝口明秀	外山義朗	濱田博信

定款変更履歴

令和元 (2019) 年 8 月 30 日	第 8 条	一部変更
令和 2 (2020) 年 7 月 31 日	第 8 条	一部変更
令和 2 (2020) 年 7 月 31 日	第 20 条 1 項	一部変更
令和 3 (2021) 年 3 月 25 日	第 20 条 1 項および 第 20 条 2 項	一部変更

禁無断転載

2023年7月

発行 一般財団法人 出版文化産業振興財団
東京都千代田区神田神保町2丁目2番地30

電話 03 (5211) 7282

